

第七十九回帝國議會
衆議院

日本銀行法案外二件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
日本銀行法案(政府提出)(第十七號)
臨時資金調整法(政府提出)(第一八號)
臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)(第一九號)

會議

昭和十七年一月二十八日(水曜日)午後一時
十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事 橫川 重次君 理事 田村 秀吉君

理事 長井 源君 理事 坂東幸太郎君

理事 龜井貫一郎君 理事 本田 英作君

井阪 豐光君

小山倉之助君

太田 理一君

木村 正義君

簡牛 凡夫君

武田德三郎君

豐田 豐吉君

內藤 正剛君

仲井間宗一君

西村金三郎君

廣川 弘禪君

堀内 良平君

山本 条吉君

石坂 豐一君

河合 義一君

栗山 博君

水谷長三郎君

一月二十七日委員大本貞太郎君、崎山嗣朝君及手代木隆吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ

橫川重次君、簡牛凡夫君及喜多壯一郎君ヲ

議長ニ於テ選定セリ

同月二十八日理事大本貞太郎君ノ補闕トシ

テ橫川重次君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省爲替局長 原口 武夫君

大藏省會社部長 田中 豐君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日本銀行法案(政府提出)

戰時金融庫法案(政府提出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、御

諮リ致シマス、理事大本貞太郎君ガ委員ヲ

辭任セラレマシタノデ、理事ノ補闕選舉ヲ

行ハナケレバナリマセヌ、先例ニ依リマシ

テ委員長ヨリ指名スルニ御異議アリマセヌ

カ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○板谷委員長 御異議ナシト認メマス、ソ

レデハ橫川重次君ニ御願ヒ致シマス

此ノ際委員長ヨリ政府ニ御尋ネ致シタイ

ト思ヒマスガ、政府ノ聲明ニ依リマシレバ、今

回金兌換制度ヲ廢止シテ管理通貨制度ヲ基

礎トシ、而モ恒久的ニ採用スルト云フコト

デアリマスガ、一體管理通貨制度ハ如何ナ

ルモノデアるか、委員ノ方々ニドウモハツ

キリシテ居ラナイヤウニ感ジマスノデ、此

ノ際其ノ定義ニ對シテ具體的ニ御説明ヲ御

願ヒシマス

○山際政府委員 先頃日本銀行法案ノ要綱

ヲ決定致シマシテ發表致シマシタ中ニ、「銀

行券ノ金兌換制度ヲ廢止シ管理通貨制度ヲ

基礎トスル發券制度ヲ設クルコト」ト云フ

條項ヲ掲ゲタノデアリマス、ソコデ此處ニ

申シテ居リマス管理通貨制度ヲ基礎トスル

ト云フノハ如何ナル意味デアるかト云フ點

ガ問題トナルト考ヘルノデアリマスガ、御

承知ノ如ク元々管理通貨制度ト云フ言葉

ハ、今日マデ色々意味ニ於テ用ヒラレテ

居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ言葉ガ

當然ニ誰モ肯クヤウナ確定的ノ内容ヲ以テ

既ニ確立サレテ居ルトハマダ申シニクイ狀

態デアルト思フノデアリマスカラ、今回ノ

要綱ニ於キマシテ管理通貨制度ヲ基礎トス

ル發券制度ヲ設ケルト云フ趣旨ハ、此ノ法

案ノ掲ゲテ居リマス内容ニ付キマシテ、政

府ニ於テ斯様ナ言葉ヲ使ツテ居リマスコト

ヲ御判斷願ヒタイト思フノデアリマス、今

回ノ法案ニ於テ仕組ンデ居リマス發券制度

ヲ御説明申上ゲマス便宜ノ上カラ、現在ノ

兌換銀行券條例ニ於テ執ツテ居リマス發行

制度ノコトヲ一言申上ゲタ方ガ御諒解ヲ得

ルニ便宜カト考ヘマス

御承知ノ如ク、現在ノ兌換銀行券條例ハ、

極ク通俗ナ言葉デ申上ゲマス、國內的

ニモ又國際的ニモ、所謂自由ナル經濟ト云

フモノヲ背景トシテ制度デアリマス、國內

的ニ申シマスナラバ、銀行ノ出シテ居リマ

ス銀行券ハ、何時デモ之ヲ金貨ニ換ヘルコ

トガ出來ル、所謂兌換ノコトヲ認メラレテ

居ル、而シテ其ノ金貨ハ、國際通商ガ自由

デアルト云フ前提ノ下ニ、何人モ其ノ好ム

所ニ從ツテ之ヲ海外ニ輸出シ得ル、又其ノ

輸出スルニ當ツテハ、何時タリトモ所謂鑄

潰シガ自由デアリ、又海外カラ金ヲ得タル

者ハ、鑄造ノ自由ニ依ツテ何時デモ之ヲ金

貨ニ換ヘ得ル、之ヲ要スルニ國內ノ通貨ガ

國外ニ流出致シマスルニ付キマシテモ、又金

國內カラ國外ニ出テ行キ、又國外カラ國

內ニ入ルニ付テモ、總テ是ハ所謂經濟原則

ニ從フ自由ナル取引デアルト云フコトヲ前

提トスル制度デアルトコトハ申スマデモナイ

ノデアリマス、而シテ其ノ前提ノ上ニ立ツ

發券制度ト致シマシテハ、銀行券ノ持ツ價

値ト云フモノハ當然其ノ金兌換ト云フ點ニ

於テ、又金ノ自由鑄造、自由鑄潰シ、竝ニ

海外ヘノ自由輸出、又自由輸入ト云フ點カ

ラ致シマシテ、總テ金ト固定シテ居ルト云

フ關係ガ成立ツテ居ルノデアリマス、隨ヒ

マシテ一國ノ通貨量自體モ、其ノ國ニ如何

ニ金ガ多イカト云フコトニ依ツテ調節サレ

ルト云フ制度ニ相成ツテ居ルノデアリマス、所

謂正貨準備發行ト云フハソレニ該當スルノ

デアリマシテ、金サヘ持ツテ來レバ兌換券ハ

幾ラデモ出セル、同時ニ銀行ノ手許ノ金ガ

減レバ兌換券ハ自然ニ減ツテシマフ、詰リ

政府ノ政策トカ國家ノ必要トカ云フコトデ

ナク、所謂國內、國外ヲ通ジテノ經濟原則

ニ從ツテ、金ガ殖エルカ減ルカト云フコト

ニ依ツテ國內ノ通貨量ガ増減サレルト云フ

コトヲ、其ノ制度ノ骨子ト致シテ居ルノデ

アリマス、之ニ對シマシテ今回ノ法案ニ盛込
ンデアリマスル發券制度ハ、斯カル銀行券ノ
價值並ニ量ト云フモノトノ關聯ヲ一應
切離シテ制度ナノデアリマス、即チ銀行券
ノ價值ニ致シマシテモ、又銀行券ノ量ニ致
シマシテモ、所謂金ノ自動的ナル調節作用
ニ依ツテ、其ノ金ノ量ニ左右セラレト云
フ制度ハ、今日ノ日本ノ經濟ノ持ツテ行キ
方ト合致シナイ、現在ノ必要トスル所ハ、
銀行券ノ價值ニ付テモ、又其ノ通貨ノ量ニ
致シマシテモ、國家ノ經濟秩序ヲ維持シ、
之ヲ安定シ、且ツ國家ノ持ツテ居ル經濟總
力ヲ適切ニ發揮シ得ルヤウナ狀態ニ於テ、
國家ガ積極的ニ、且ツ綜合計畫的ニ、調節
シ管理スルコトガ出來ルヤウナ制度デナク
テハナラス、ソレガ總テノ經濟政策ノ基調
ニナルノダ、斯ウ云フ建前ニナツテ居ルノ
デアリマス、申上ゲルマデモナク、既ニ今
日ノ經濟ノ段階ニ於キマシテハ、産業モ、
勞務モ、資本モ、所謂經濟現象ハ殆ド總テ
ガ國家ノ政策ニ依ツテ綜合的ニ運營セラレ
テ居リマスル時ニ方リマシテ、通貨ノ收縮
ナリ、又其ノ放出ナリ、又通貨ノ價值ノミガ
獨リ國家ノ政策方ラ切離サレテ金ノ量ニ左
右セラレト云フコトデアツテハ、只今申
上ゲマシタヤウナ各般ノ經濟政策ヲ圓滑ニ
運行スルコトハ出來ナイト思フノデアリマ
ス、ヤハリ通貨ノ關係ニ於キマシテモ、總
テノ經濟政策ニ於ケルト同様、同ジ國家ノ
統制管理ト云フ其ノ基調ノ上ニ立タナケレ
バナラスト云フノダ、即チ今回ノ制度ノ眼
目ニ相成ツテ居ルノデアリマス

其ノ趣旨カラ致シマシテ、此ノ法案デ探
リマシタ所ヲ申上ゲマスナラバ、從來ノ制
度トノ對比ニ於キマシテハ、先ヅ第一ニ、

從來考ヘラレテ居リマシタ正貨準備發行ト
保證準備發行ト云フ區別ヲ敬廢シタノガ
第一點デアリマス、即チ申上ゲルマデモナ
ク、正貨準備發行ハ金ノ量ニ相應スル發行量
デアリマスガ、其ノ兩者ノ區別ヲ廢メ、金
ノ銀行券ニ對スル特殊の地位ト云フモノヲ
認メナイコトニ致シタノデアリマス、此ノコ
トハ、何モ銀行券ノ準備シテ金ノ價值ヲ否
定致シタモノデハ決シテゴザイマセス、法
案ニモアリマスル通り、準備物ノ内容ト致
シマシテハ、ヤハリ金ハ其ノ存在ヲ當然ニ
認メテ居ルノデアリマスルガ、唯前段申上ゲ
マスルヤウナ金ト銀行券トノ間ノ必然的ナル
關係ト云フモノヲ斷ツタト云フ意味ガアル
ノデアリマス

第二ノ點ハ、先般來申上ゲマシタ所謂金
ニ兌換スルコト云フ制度ヲ廢メタコトデアリ
マス、國內通貨ト致シマシテ、今日金貨ガ
必要デナイト云フコトハ申スマデモナイト
思フノデアリマス、隨ヒマシテ國內用ト致
シマシテ、銀行券ヲ金貨ニ換ヘル必要ノナイ
コトハ明カデアリマス、然ラバ對外的ニハ
ドウ云フ關係ニ立ツカト云フコトデアリマ
スルガ、今回ノ制度ハ、對外的ニ於テモ銀行
券ノ價值ヲ十分ニ維持尊重シテ行カナケレ
バナラスコトハ申スマデモナイノデアリマ
ス、唯其ノ維持ナリ安定ナリト云フモノノ
仕方ガ、何モ金貨ニ兌換スルコト云フ形ニ於
テ維持スル必要ハナイ、即チ對外的ニハ國
際貸借ノ爲替ノ尻ヲ、日本銀行ガ國際決済
手段ノ最終ノ保管者タル地位ニ於キマシテ、
或ハ外國爲替ノ形ニ於テソレヲ賣ツテヤル
トカ、或ハ金ノ形ニ於テソレヲ賣ツテヤル
トカ云フコトニ於テ、對外的價值ヲ維持ス
ルヤウニスレバ宜イノデアリマシテ、兌換

ト云フ特殊ノ制度ヲソコニ存置スル必要ハ
ナイト云フ考ヘ方カラ、兌換ト云フ制度ヲ廢
棄スルニ至ツタノデアリマス、即チ地金銀
ノ賣買ヲスルトカ、必要ニ應ジテ外國爲替
ノ賣買ヲスルト云フ機能ヲ、正面カラ中央
銀行ノ機能トシテ謳ツテ居リマスル所以モ
亦一ツハ對外的價值維持ニ付テ、ソレ等ノ
機能ヲ通ジテ日本銀行ガ其ノ衝ニ當ルト云
フ趣旨ヲ明カニシテ居ル次第デアリマス
更ニ第三點ハ、通貨所要ノ數量ヲ、從來
ハ金保有量ト云フコトニ規制セラレテ居ッ
タノデアリマスルガ、左様ナ意味合ニ於テ
金カラ離脱致シマシタ關係上、其ノ額ハ一應
政府ニ於テ之ヲ決定スル、其ノ意味ハ前段
申上ゲマシタルガ如ク、總テノ他ノ經濟事
象ヲ政府ノ立テマスル計畫ト其ノ統制トニ
從ツテ運營シテ參ルノデアリマスカラ、其
ノ經濟ノ運營ニ必要ナル通貨量ト云フモノ
モ亦政府ニ於テ一應之ヲ決定スルコトガ妥
當デアルト勘案セラルルカラデアリマス、
尤モ昨日モ御説明申上ゲマシタルガ如ク、
偶、經濟界ノ必要ニ應ジマシテ、其ノ政府ガ
定メマシタ限度額以上ニ銀行券ヲ必要ト致
シマスル場合、制限外發行ヲ認メル必要ハ
尙ホ殘存スルモノト考ヘラレマスノデ、
其ノ途ハ依然トシテ本法案ニ於テモ認メテ
アルヤウナ次第デアリマス

大體今回ノ法案ニ於テ盛込シテ居リマス
ル所ノ發券制度ノ趣旨ト、其ノ主タル點ハ
以上申上ゲマシタヤウナ次第デアリマスル
ガ、ココデ一ツ問題ガ殘リマスルコトハ、
昨日モ御指摘ガアリマシタヤウナ貨幣法ト
今回ノ發券制度トノ關係ノ問題デアリマス、
御承知ノ通り貨幣法ニ於テハ、其ノ第二條
ニ於キマシテ「純金ノ量目七百五十ミリグ

ラムヲ以テ價格ノ單位ト爲シ之ヲ圓ト稱
ス」ト云フコトガ書カレテアリマス、我ガ國
ノ銀行券ノ單位ハ勿論デアリマスガ、總テ
價格ノ單位ハ申スマデモナク圓デアリマス、
其ノ圓ガ何デアルカト云フト、只今申シマ
シタ貨幣法第二條ニ依リマシテ、純金ノ量
目七百五十「ミリグラム」デアルト云フコト
ニナツテ居リマス、是ハ規定ニ付テノ話デ
アリマスガ、此ノ貨幣法第二條ノ規定ハ、今
日ト雖モ依然トシテ存續シテ居ルハ、又此ノ
法案ニ伴ヒマシテモ、之ヲ廢止スルコトハ
致シテ居ラスノデアリマス、ソコデ實際ノ狀
況ヲ見マス、此ノ貨幣法第二條ノ規定ハ實
ハ空文ニナツテ居ル、何等實ノナイ規定ニナ
ツテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、
即チ昭和七年ニ金ノ輸出ヲ禁止シ、金ノ兌
換ヲ停止致シマシタ以來ハ、此ノ貨幣法第
二條ノ規定ハ存在ハ致シテ居リマスケレドモ、
何等其ノ實體ヲ持ツテ居ラス、金ト價格ノ
單位デアアル圓、銀行券ノ單位デアアル圓、其
ノ關係ハ、產金ニ對スル政府ノ買上價格、又
爲替銀行等ニ對スル政府ノ金ノ拂下價格、
之ニ依ツテ現實ニハ決定サレテ居ル實情ニ
相成ツテ居ルノデアリマス、斯カル實情ニ
基キマシテ、貨幣法第二條ハ其ノ儘ニ存在
ハ致シマスガ、尙且ツ銀行券ノ發行制度ト
シテ本案ニ掲ゲデアリマシタヤウナ制度ヲ執
リマスルコト、是等ヲ綜合致シマシテ、曩
ニ申上ゲマシタ政府決定ノ要綱ニ於キマシ
テハ、管理通貨制度ヲ基礎トスル發券制度、
斯様ナ表現ヲ使ツテ居リマス、隨ヒマシテ、
若シ極メテ形式的ナ、又極端ナ潔癖ナル議
論ヲ致シマスルナラバ、管理通貨制度トシ
テ形式ヲ完備スル以上ハ、貨幣法第二條ヲ
廢止スベキデハナイカト云フ議論ハ、一ツ

ラマシタヤウナ各般ノ經濟政策ヲ圓滑ニ
運行スルコトハ出來ナイト思フノデアリマ
ス、ヤハリ通貨ノ關係ニ於キマシテモ、總
テノ經濟政策ニ於ケルト同様、同ジ國家ノ
統制管理ト云フ其ノ基調ノ上ニ立タナケレ
バナラスト云フノダ、即チ今回ノ制度ノ眼
目ニ相成ツテ居ルノデアリマス

ノ議論トシテハ實ハ立チ得ルト思フノデア
リマス、併シナガラ尙ホソレヲ今同モ存續
致シマシテ、玆ニ管理通貨ヲ基礎トスル發
券制度云々ト申シマシタ所以ハ、以上申上
ガマシタ如ク、既ニ貨幣法第二條ノ實體ハ
失ハレテ居ルト云フ狀況ヲ背景トシテ、其
ノ上ニ只今申上ガマシタヤウナ内容ヲ持ツ
發券制度ヲ打立テ、之ヲ綜合シテ所謂管理
通貨制度ヲ基礎トスル發券制度、斯様ニ吾
吾ノ方デハ呼ンダノデアリマス、此ノ呼ビ
方ハ大體ニ於テ普通ニ理解サレテ居ル管理
通貨制度云々ト云フコトニソレ程外レテ居
ル表現デハナイ、先ヅソレデ通用スル表現
デハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデア
リマス、此ノ點ハ昨日大藏大臣ガ此處デ御
説明申上ガマシタ最後ノ所ニ於テ一言觸レ
タ點ナノデアリマス

ソコデ更ニ御話ヲハツキリ致シマスル爲
ニ、然ラバ此ノ機會ニナゼ貨幣法第二條ヲ
消サナカツタカト云フ問題ガ殘ル譯デアリ
マス、此ノ點ノ、先般來モ田中委員ヨリ色
色御指摘ノアリマシタ貨幣價值ノ根本問題
ニ關スル議論ト云フモノハ、是ハ又幾多ノ
論議ガアルノデアリマス、若シ此ノ貨幣法
第二條ノ規定ヲ抹殺スルトスレバ、價格ノ
單位ガ圓デアアルガ、其ノ圓ガ何デアアルカト
云フコトガ非常ニ困難ナ問題ニナルノデア
リマス、實際ハ先程申上ガマシタヤウナ狀
態ニナツテ居リマスモノ、其ノ狀態ヲ法
制ノ上ニ形式的ニ表明致スニ付キマシテ
ハ、金ト云フ文字ヲ價格ノ單位ト全然切離
シテ考ヘ、表現ヲ直グ變ヘテシマフノガ宜
イカ、或ハ又何等カ他ノ代ルベキ尺度ヲ持
ツテ參リマシテ、ソレト價格ノ單位タル圓
ト結付ケルノガ宜イノカ、是等ノ點ハ勿論

當局ト致シマシテ研究ヲ進メテ居リマス
レドモ、今日其ノ點ヲ申上ゲルマデニハ研
究ガ實ヲ結ンデ居リマセシタ關係上、
今回ノ改正案ニ於キマシテハ其ノ點ハ殘シ
マシタヤウナ次第デゴザイマス、或ハ御分
リニクイカト思ヒマスガ、一應私共ノ方デ
考ヘマシタ徑路ヲ申上ゲマス、左様ナ次
第ニナツテ居ルノデアリマス

○板谷委員 尙ホ今一點確メテ置キタイ
ト思ヒマス、今ノ御話ニ依レバ、金ノ必要
性ハ認メルト云フコトデアリマスガ、國內
的ニハ兌換ヲ停止シ、對外的ニ於キマシテ
ハ差當ツテ金ノ必要ハナイ、所デ從來大藏
當局ガ盛ニ產金政策ヲ唱道サレタ、ソレ
ニ對シテ重大ナル影響ガ來ルト思フノデア
リマスガ、ソレハドウ云フヤウニ將來ナサ
ル御考ヘデアリマス

○山縣政府委員 或ハ私ノ申上ガ様ガ惡カ
ツタカモ知レマセスガ、國際的ナ決濟ノ用
ニ供シマス金ノ價值ハ、依然トシテ私共ハ
從來ト同様其ノ重要性ヲ考ヘテ居ルノデゴ
ザイマス、先程申上ガマシタノハ、國內ノ
關係ニ於テ金ハ必要ガナクナツタト云フコ
トデアリマシテ、國際的ニハ依然トシテ重
要デアアル、同時ニ金ノ量ト銀行券ノ量トノ
機械的ナ繋ガリト云フモノヲ切離シタト云
フ點ニ於テ申上ゲタノデアリマス、左様ナ
譯デアリマスカラ、當局ト致シマシテ從來
續テテ居リマス產金助成ノ政策ハ、今後ト
雖モ何等變更ヲ加ヘナイ、斯様ナ考ヘデゴ
ザイマス、多少私ノ申上ガ様ガ足リマセ
シタカト思ヒマス

○栗山委員 只今政府委員ノ説明ガアツタ
ノデアリマスガ、是ハ極メテ簡單ニ、私ハ
了解シ得ルト思フノデアリマス、要スルニ

此ノ改正法案ノ精神カラ言ヘバ、金ノ時代
ニ對シテ、通貨ノ觀點カラ見レバ主客顛倒
デアアル、砂糖一斤幾ラト云フノト同ジコト
デアアル、而モソシナニ難カシク考ヘナイデ
モ、政府ガ斯様ナ徹底シタ「イデオロギ」
ノ上ニ立ツテ此ノ法案ヲ施行サレル以上、
何等差支ヘナイ、極メテ簡單ニ考ヘテ宜
イト思ヒマス

○龜井委員 只今ノ委員長ノ御取計ヒ及ビ
政府ノ御説明ハ非常ニ時宜ヲ得マシタコト
デ、結構ダト思フノデアリマスガ、一般ノ
常識的ニハソレデ濟ムノデアリマスガ、大
體管理通貨制度ト云フ言葉ヲ使ヒマスレバ、
是ハ非常ニ新シイ根本的ナ變革ノ制度ニナ
リマスノデ、色々ノ學者ノ論議モアルト思
マス、此ノ際モウ少シソコヲ明確ニサレテ
置イタ方ガ宜イト思フノデアリマス、例ヘ
バ、失禮デアリマスガ山縣サンノ御話ノ貨
幣法變革ノ問題等ハ、少シ言ヒ過ギニナリ
ハシナイカ、却テ御訂正ニナツタ方ガ宜
イノデハナイカ、ト云フノハ、只今委員會ノ
議論ヲ拜聴致シマス、管理通貨制度ニ現
ハレテ參リマス特色デアアル本位貨幣ナルモ
ノト、通貨ト云フモノガ混亂シテ議論サレ
テ居ルノデアリマス、隨テ本位貨幣ノ持ツ
所ノ價值尺度トシテノ機能ハ、是ハ儼然ト
シテ存スルノデアアル、唯其ノ信用供與ノ作
用トシテノ通貨部分ト云フモノヲ、全部管
理通貨ニ委譲スルノデアルト云フ原則ヲ明
瞭ニナサイマシテ、サウシテ其ノ本位貨幣
タルノ價值尺度トシテノモノハ、依然トシ
テヤハリ各國生産費ノ計算ノ共通尺度デア
ル所ノ、即チ勞働ノ結實トシテノ生産費ハ、
ヤハリ金ニ於テ比較シテ行クノダ、斯ウ云
フ風ニ解釋シテ宜イノデハナイカト思ヒマ

スガ、其ノ點ヲ一ツ明瞭ニシテ戴キタイ
思ヒマス

○山縣政府委員 只今龜井サンノ御指摘ニ
ナリマシタ點、極ク大體ノ筋ニ於テ私共同
様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯先程來私
ガ貨幣法第二條ノ關係ニ於テ縷々申上ゲマ
シタ結果、或ハ却テ言ヒ過ギデハナイカト
云フ御注意ガアリマシタ點ニ付キマシテハ、
或ハ私ノ申上ガヤウガ惡カツタノカト存ジ
マスガ、銀行券ノ制度ヲ金ト云フモノトノ
機械的連繫カラ切離スト云フ關係ニ於テノ
ミ今回ノ制度ヲ考ヘタト云フコトニ、或ハ
御取リヲ願ツタヤウナコトニナツタノカト
思ヒマスガ、併シ貨幣法ヲ、詰リ金ト圓ト
ノ繋ガリノ問題ヲ其ノ儘ニ致シテ置キマシ
タト云フ趣旨モ、依然トシテ其ノ點ハ金ニ
繋イデ置イタ方ガ宜イノダト云フ意味合ニ
於テ申上ゲタヤウナ意味デモゴザイマセ
ス、實ハ昨日モ大藏大臣ガ此處デ其ノ點ニ
付テ輕ク觸レタト申シマスルカ、申上ゲタ
ト思フノデアリマスガ、貨幣法ヲ今回ノ機
會ニ於テ改メマセシタ理由ハ、ヤハリ
此ノ點ニ付テハ尙ホ研究ヲ進メテ居ルト云
フ事柄ナノデアリマシテ、其ノ結果ガ法案
トシテ今日ノ機會ニ御目ニ掛ケルマデニハ
マダ固マラナカツタ、斯様ナ意味合ニ於テ
申上ゲル積リデアツタノデアリマス、大體
左様ナ意圖ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ一ツ
御諒承願ヒタイト思フノデアリマス

○板谷委員長 質問ヲ繼續致シマス——堀
内良平君

○堀内委員 昨日私ハ融資命令ヲ發スル場
合ノ損失補償ニ對スル政府ノ態度ニ付テ御
尋ネヲ始メタ所デ打切ツテ置キマシタノデ、
二、三繼續シテ御伺ヒ致シマス、日本銀行

ガ業務ヲ擴張致シマシテ、普通銀行ニ變ラナイ、却テ普通銀行、私立銀行以上ノ貸付ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、サウシマスト其ノ結果トシテ自然其ノ中ニ不良貸付モ起ツテ參リマセウシ、損失ト云フモノモ考ヘナケレバナラナイ、此ノ日本銀行法案ノ第四十條ヲ見マス、損失ヲ填補シタ後ニ、民間ノ出資ニ對シテハ四分ノ補給ヲスルト云フコトガアリマスガ、日本銀行ノ貸付ノ損失ニ對スル政府ノ補償ハサウ云フヤウナ方法デ、ドウ云フ限度マデナサル御積リデアリマスカ

○山際政府委員 今回ノ法案ニ於キマシテ、日本銀行ガ必ズシモ其ノ収益性ト申シマスカ、或ハ打算ノ立場ト申シマス、其ノヤウナ立場ニ因ハレズシテ資金ヲ放出シナケレバナラスト云フ使命ヲ與ヘラレマシタコトハ、是ハ先般來御説明申上ガテ居ル通りデアリマス、而シテ其ノ場合ニ於テ、然ラバ損失ガ出タ場合ニ於テハドウ云フコトニナルカト云フ御尋ネデアルト思フノデアリマスガ、是ハ法案ノ第四十條ニ於キマシテ、日本銀行ハ四分ノ配當ハ必ズヤル、若シ配當ガ出來ナイヤウナ場合、例ヘバ何等剩餘金即チ益金ガナカッタカ、或ハ損失ヲ生ジタト云フヤウナ時ニハ其ノ損失モ埋メ、而シテ四分ノ配當ガ出來ルダケノ交付金ヲ政府ガ補給シテ、之ニ依ツテ其ノ四分ノ配當ヲ可能ナラシムル、斯様ナ規定ヲ第四十條ニ於テ設ケテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ個々ノ融資ニ付キマシテ損失ヲ補償致シマセズデモ、最終的ニ假ニ損失ガ出マシタ場合ト雖モ、ソレハ第四十條デ其ノ最後ノ益金ト云フ所ニ現ハレテ參リマシテ、サウシテ損失ヲ補填スル、斯ウ云フ結果ニ相

成ツテ居ルノデアリマス、其損失ニ於テ纏メテ政府ガ補填スル、斯ウ云フ關係ニ相成ツテ居リマス

○堀内委員 サウ致シマス其ノ損失ノ分ニ對シテハ金額補償スルト云フヤウナ結論ニナリマスガ、左様ニ諒解致シテ宜シウゴザイマス、ソレカラモウ一ツ序ニ伺ヒマスガ、其ノ損失ヲ補償スル貸付ハ、政府ガ命令ヲ出サレタ場合ノ貸付ニ限ルノデアリマス、或ハ日本銀行ガ自由ニ貸付ヲ致シタ其ノ方ノ損失モ皆含シテ居ルノデアリマス、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○山際政府委員 其ノ損失ノ問題ニ付キマシテハ、政府ノ命令ニ依ル——政府ノ命令ト申シマスヨリモ、今回ノ法案ニ於キマシテハ日本銀行當然ノ義務トシテ、假令多少ノ損失ガ豫想サレルヤウナ場合ニ於テモ尙且ツ其ノ仕事ヲシナケレバナラス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、而シテ其ノ結果トシテ出マシタ損失ニ付キマシテハ、自カラノ力ニ於テ補填出來マスル限リハ自カラ補填ヲサセル、併シカニ餘リマシテ、其ノ結果約束サレタ四分ノ配當ガ出來ナト云フ場合ニハ、其ノ四分ノ配當ニハ、其ノ四分ノ配當ヲスルニ必要ナル程度ニ於テ政府ガ補給ヲスル、斯様ナ仕組ミニ相成ツテ居ルノデアリマス

○堀内委員 其ノ點ハ能ク分リマシタガ、昨日一寸申シ掛ケタ私立銀行ニ對シテモ融資命令ヲスルコトガアルト云フ風ニ御伺ヒ致シタノデアリマスガ、サウ云フ際ニ、其ノ結果トシテ私立銀行ガ損失ヲ受ケタ場合ニ對スル政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○山際政府委員 御尋ノ場合ハ總動員法ニ依リマシテ資金ノ融資ヲ致スベキコトヲ命

ゼラレタ場合、而シテ總動員法ニ依リマスル資金融資ノ命令ニ付キマシテハ、其ノ生ジマシタル金額ノ損失ヲ政府ニ於テ補償スル、斯様ナ總動員法ノ規定ガ當然ニ發動セラレマシテ、サウシテ損失ヲ補填セラレルコトニ相成ツテ居リマス

○堀内委員 從來此ノ私立銀行ノ金融團、「シンデケート」團ト云フモノガアツテ、團體ニ共同融資ヲシテ居リマス、是ハ政府ハ今後モ日本銀行其ノ他ノ特殊銀行等ノ機構ヲ御改正ニナリマシタ後ト雖モ、「シンデケート」ナルモノハ將來モ同様ニ御認めニナツテ、自由ノ行動ヲ御執ラセニナルノデアリマス

○山際政府委員 先般來申上ガマシタルガ如ク、日本銀行ハ今後トモヤハリ銀行ノ銀行ト致シマシテ、直接金融機關ヲ相手ニ取引ヲ致スノデゴザイマス、一般産業等トノ關聯ニ於キマシテハ、依然トシテ既設ノ各種ノ金融機關ガ之ニ當ルコトニ相成ルノデアリマス、隨ヒマシテ、從來存在シテ居リマスル各種ノ「シンデケート」ハ、依然トシテ其ノ仕事ハ續ケテ參ルノデアリマシテ、本法案ニ依リマシテハ、其ノ點ハ何等變更ヲ加ヘラレナイコトニ相成ツテ居リマス

○堀内委員 モウ一點、此ノ法案トハ離レテ居ルコトニナルカモ知レマセスガ、先年來大藏省ニ於キマシテ、私立銀行ヲ監督ナサル場合、配當ノ制限ガアツタヤウデアリマス、ソレハ法律的ニアツタ譯デハナイデアリマセウガ、例ヘバ八年八朱以上ノ配當ヲシテハナラスト云フヤウナコトヲ御命令ニナリマシテ、私立銀行ハ皆ソレヲ遵奉シテ居ル譯デアリマス、然ルニ勸業銀行ガ一ツダケ、其ノ際ニモ拘ラズ、ズツト一割ノ配

當ヲ繼續シテ居ツタコトガアツタヤウデアリマス、世間デハ、特殊銀行デモアリ、殊ニ勸業銀行ノ立場カラ、サウ云フヤウナ高配當ヲスルト云フコトハ穩カデナイ、殊ニ貸出利率モ相當高カツタノデアリマス、大分非難モアリマシタケレドモ、勸業銀行ハ斷乎トシテ其ノ維持ヲセラレテ居ツタト云フヤウナコトガアルノデアリマス、今後特殊銀行法ガ改正ニナリマシテ、特殊銀行ナドヲ監督ナサル立場ニ於テ、只今申上ガマシタヤウナ事例ガ再ビ起ルヤウナ場合ガ若シアルトシマシタナラバ、政府ハ此ノ特殊銀行ト私立銀行トノ配當等ノ制限ハ同一ニナサル御積リデアリマス、又ソレニ等差ヲ設ケテ監督ヲナサルコトニナリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○山際政府委員 御承知ノ如ク金融機關ハ、其ノ公益的ト申シマスルカ、公共的ノ使命ガ非常ニ強イ機關デアリマスル爲ニ、極力其ノ内容ヲ鞏固ナラシメテ、世間ニ迷惑ヲ掛ケナイト云フ觀點カラ致シマシテ、配當ノ如キモ、比較的他ノ産業等ニ比ベマスレバ嚴重ナ監督ヲ致シテ居リマスルコトハ只今御指摘ノ通りデアリマス、ソレニ付キマシテ、普通銀行ト特殊銀行トノ間ニ何等力差別的ナ取扱デモスル方針デアアルカト云フ御趣旨ノ御尋ネガアツタヤウデアリマスルガ、格別其ノ兩者ヲ配當ノ上ニ於テ區別シテ考ヘルト云フヤウナ考ヘハ有シテ居リマセス、唯勸業銀行ノ如キ、永ク一割配當ヲ繼續シテ居リマスルモノニ付キマシテハ、御承知ノ如ク内部ノ留保ナリ、又表面ニ表レマシタル積立金等ガ非常ニ多額ニ相成ツテ居リマシテ、最近ノ會社經理統制令等デ採用致シテ居リマスル自己資本ニ對ス

ル配當率ト云フ觀點カラ參リマスルト、マ
ダ相當餘裕ガアリマシテ、直チニ之ヲ引下
ガナケレバナラスト云フヤウナ狀態デモナ
イヤウニ考ヘマスル爲ニ、今日マデ依然其
ノ狀態ヲ繼續サセテ居ルヤウナ次第デアリ
マス、永ク一割配當ヲ繼續致シテ居リマス
モノヲ、俄カニ其ノ配當ヲ改メルト云フコ
トモ亦各方面ニ及ボス影響等ガ相當深刻デ
アラウト思ヒマスノデ、ソレ等ノ點ニ付キ
マシテハ、能ク當局ト致シマシテモ今後ト
モ十分考慮ヲ拂ツテ行キタイ、斯様ニ考ヘ
テ居リマス

○堀内委員 其ノ點ハ考慮ヲ拂フトハ仰シ
ヤイマスガ、特殊銀行ト私設銀行トノ配當
率ヲソレノ放任シテ、サウ云フコトヲ繼
續サセテ置クト云フナラバ一向構ヒマセ
ガ、一方ハ八朱デナケレバイケナイト云フ
コトヲ仰シヤツテ、其ノ命令ト申シマス
カ、ソレヲ遵奉シテ、モツト出來ル配當モ
八朱ニ制限シテ居ル、然ルニ特殊銀行デア
ル勸業銀行ハ一割ノ配當ヲシテ居ル、斯ウ
云フ所ガ、外間カラ見ルト一寸差別待遇ヲ
受ケテ居ルヤウニ見エ、ソレガ甚ダ穩カ
デナイノデハアルマイカ、今回ハ日本銀行
法、勸業銀行法、興業銀行法、總テノ法律
ガ改正ニナリマシテ、大分範圍モ擴張サ
ルヤウデアリマスガ、ソレガ爲ニ市中ノ私
設銀行ト云フモノハ相當影響ヲ受ケルモノ
ト思フノデアリマス、高配當ハ無論出來ナ
イデハアリマセウケレドモ、サウ云フヤウ
ナ配當ナドモ均一ニシテ、差別的デナイ所
ノ御考ヘヲ以テ臨マレルカドウカト云フコ
トヲ御聽キ致シタノデアリマスガ、只今ノヤ
ウナ御答辯ヲ得マシタカラ、其ノ點ハ追究
ハ致シマセヌガ、私ノ希望トシテハ、特殊

銀行ガ高イ配當ヲシ、私立銀行ガ低イ配當
ヲシテ居ルト云フコトハドウモ穩カデナイ
ト思ヒマス、而モ勸業銀行ノ如キ、其ノ名
ニ於テモ、其ノ性質ニ於テモ穩カデナイト
云フヤウナ非難ガ囂々トシテアル位デアリ
マスカラ、一言申シテ置キマス

モウ一點伺ヒタイノデアリマスガ、今回
銀行關係ノ諸法律ヲ御改正ニナリマシテ、
戰時目的ニ對シテ融資ヲ便利ニ致シ、又生
產擴充等ニ對シテ強イ援助ヲ與ヘルト云フ
御方針ハ洵ニ結構ダト思ヒマス、サウ云フ
コトニナリマス、現在實行サレテ居リマ
ス所ノ經理統制會トカ、資金調整法ト云フ
ヤウナモノハ、堅實ヲ期シテアア云フコト
ヲナスツタノカ知リマセヌガ、資金ヲ融通
シテ貰フ、借リル方ノ側、即チ生産擴充ニ
從事シテ居ル方ノ側カラ申シマス、非常
ニ窮屈デ手モ足モ出セナイ、其ノ處置ニ非常
ニ困ツテ居リマシテ、却テ其ノ爲ニ企業心
モ萎靡スルト云フヤウナコトデ、生産擴充
ハ中々出來ナイノデハナイカト思フノデア
リマス、是ハ統制經濟ノ一ツノ缺陷デア
ルカノ如ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウ
云フヤウナ諸法令ヲ、何力之ニ準ジテ御改
正ニナルヤウナ御意思ガアルデアリマセウ
カ、其ノ點ヲ一寸伺ヒシテ置キマス

○田中(豐)政府委員 只今ノ御質問ハ、産業
資金ヲ豐富ニ供給スルト云フ方面ノ途ガ出來
テモ、資金調整法其ノ他ノ規定ガ餘リニ窮屈
デ旨ク行カナイノデハナイカ、斯ウ云フ御
質問ダト思ヒマス、御尤モナ點ハアリマス
ガ、會社經濟統制令、或ハ資金調整法ニ依
ツテ規制致シテ居リマス所ハ、資金ガ最モ
效率的ニ、現下ノ時局ニ於キマシテ最モ有
用ニ使ハレルト云フコトヲ主眼ト致シマシ

テ、資金ノ使用ヲ調整致シテ居ル譯デアリ
マス、只今ノ所、御承知ノヤウニ資金モソ
レ程非常ニ豐富ナ譯デアリマセズ、現在
ノ統制ヲ更ニ緩和シテ行クト云フヤウナコ
トハ期待出來ナイト思ヒマス、大體重要ナ
所ニ重點的ニ資金ヲ使フト云フ必要ガ爲、
要望サレテ居ル際デアリマシテ、御質問ノ
御趣旨ノヤウナ方向ニハ行キ兼ねルカト考
ヘテ居リマス

○堀内委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○板谷委員長 坂東幸太郎君

○坂東委員 私ハ最初ニ、此ノ南方共榮圈
ノ各地域ニ於ケル大東亞戰爭前ノ流通貨幣
ノ高ヲ聽キタイノデアリマスガ、其ノ資料
ガ來テ居リマセヌカラ、飛ビニ質問ヲ
致シマシテ、其ノ點ヲ保留シテ、資料ガ來
マシタ後カラ又質問致シタイト思ヒマス、
抑、貨幣ハ戰爭ノ結果或ハ戰後經營ニ重大ナ
ル關係ヲ持ツテ居リマス、隨テ戰爭中カラ
萬全ノ策ヲ執ツテ居リマセスト、貨幣政策
カラ却テ戰爭ノ結果ヲ非常ニ惡クスルヤウ
ナ處ガアル、サウ云フヤウナ觀點カラ御尋
ネ致シマス、實ハ此ノ點ニ關シマシテハ昨
日來同僚諸君カラモ質問ガアリマシテ、多
少答辯ガアツタノデアリマスガ、尙ホ私ハ
諒解シ難イ點ガアリマスカラ、多少重複致
シマスガ、此ノ點ニ付テニ、三御伺ヒ致シ
マス

先ヅ第一ニ敵性國タル英米ノ貨幣ニ對シ
マシテハ、無論貨幣ハ其ノ國ノ信用ノ大
小又ハ權力ノ表示デアリマスカラ、之ニ對
シテハ峻烈ナル方策ヲ執ラナケレバナラス
ト私ハ考ヘマス、斯カル見地カラ香港ニ於
ケル英國ノ貨幣ニ對スル日本ノ方針、又「マ
レー半島又ハ「フィリピン」ニ於ケル「ア

メリカ」ノ貨幣、サウ云フ敵性國家ノ……
○板谷委員長 坂東君、只今ノ御質問ハ爲
替局長カラ御答辯願ツタ方ガ宜イノデハナ
イデスカ、今オイデニナラヌカラ、保留サ
レテ、オイデニナツテカラヤツテ下サイ、
其ノ他ノ政府委員ニ御質問ガアルナラバ御
繼續願ヒマス

○坂東委員 ソレデハ北方ノ開發問題ニ關
シマシテ、金融問題ト關聯シテ御伺ヒ致シ
マス、南方ニ日本ガ如何ニ進出致シマシテ
モ、北方ノ重要性ハ閑却スベキデハナイ、
斯様ニ私ハ信ズルノデアリマス、昔カラ北
方ノ匈奴ト申シマシテ、ドウシテモ人間ヲ
養フ、人間ヲ強クスルト云フ點カラ申シマ
スレバ、北方ニ對スル經營ヲ閑却スベキデ
ハナイ、斯様ニ私ハ信ジテ居リマス、然ル
ニ過般拓務省ニ於テ北方ニ關スル開發事業
ノ研究、即チ寒地農業ノ經營ノ大規模ヲ豫
算ガアツタノデアリマスガ、ソレヲ惜シ氣
モナク切ツテシマツタ、更ニ拓務省ハ遺憾
ト致シマシテ追加豫算ヲ出シマシタガ、是
モ切ツテシマツタ、斯ウ云フ大藏省ノ仕方
ハ、單ニ日本ハ南方ニ進出スレバ宜シイ、
北方ハドウナツテモ宜シイ、サウ云フ風ナ
御考ヘデアアルカドウカト云フコトヲ簡單ニ
御伺ヒシタイノデアリマス

○谷口政府委員 只今坂東君サシカラ南方ノ
問題ニ付テ御質問ガアツタノデアリマスガ、
御希望ニ相成ツテ居リマスヤウナ資料ハ用
意ヲ致シマシテ、南方開發基金庫法案ノ委員
會ノ方ニモ提出致シテ置キマシタノデ、コ
チラノ方ニモソレヲ御屆ケ致シタイト思
ヒマス、全ク御説ノ通りニ通貨問題ト云フ
モノハ南方經營ノ基礎ヲ成ス問題デアリマ
シテ、政府ニ於キマシテモ今後十分慎重ニ、

施策ヲ誤ラナイヤウニ致サナケレバナラス
ト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、尙
又ソレノ地域ニ於キマスル詳細ナル問
題ニ付キマシテハ、受持ノ當局ガ來マシタ
ラ詳シク御答ヘ致スコトニ致シタイと思ヒ
マス

次ニ北方ノ經營ノ問題ハ、今日南方經營ガ
我が國策ノ中心ト相成リマシテ、一億臣民
ノ眼ガ南方ノ方ニ皆向イテ居ルヤウニモ見
受ケラレルノデアリマス、仰セノ如ク北方
モ忽セニスベカラザルコトハ全ク其ノ通り
デアリマシテ、只今御話ニナリマシタヤウナ
寒地農業ノ問題等ニ付キマシテハ、慥カ前
年來若干經營スル所ガアツタカト思フノ
デアリマス、例ヘバ北海道ノ帝國大學ニ於
キマシテ、其ノ方面ノ調査研究ヲスルト云
フヤウナコトニ付キマシテハ、數年來若干
經營スル所ガアツタカト思ヒマスガ、御話ノ
點ハ更ニソレノ擴張、又ハ他ノ方面ニ
モウ少シ手ヲ伸バスト云フヤウナ問題デア
ツタカト思ヒマス、本年ハ戰爭直接ノ關係
ノモノト云フヤウナコトニ範圍ヲ限リマシ
タ關係上、思ハザル方面ニ御迷惑、不自由
ヲ掛ケテ居ルコトガアルカトモ思フノデア
リマスケレドモ、是亦已ムヲ得ヌノデアリ
マシテ、今後其ノ方面ニ付テハ注意ヲ怠ラ
ズ、機會ガアリマシタナラバ其ノ方ニモ手
ヲ廻スコトニ致シタイと思フノデアリマス
○坂東委員 私が茲ニ改メテ申スマデモナ
ク、滿洲ハ實ニ千數百万町歩ノ耕地ガアツ
テ、更ニ耕地適地ガ一千万町歩アル、此ノ
一千万町歩以上アル國ハ殆ド「ロシア」、支
那、或ハ合衆國、「インド」等ヲ除イテハナ
イ位ノ大ナルモノデアリマス、苟クモ日本
ガ多クノ金ヲ授ジテ滿洲ニ進出シテ居リマ

ス以上ハ、假令南方ガ如何ニ日本ノ國策ノ
中心ト致シマシテモ、北方ノ經營ヲ閑却ス
ベキデハナイト云フコトハ私が申スマデモ
ナイノデアリマスカラ、其ノ點ニ關シマシ
テハ十分政府ノ御考ヘ御研究ヲ願ツテ置キ
タイと思フノデアリマス

○板谷委員長 坂東君、爲替局長ガ御見エ
ニナツテ居リマスカラ、其ノ方カラ先ニ……
○坂東委員 ソレデハ先程申シマシタコト
ヲ御伺ヒ致シマス、重複シタコトヲ申上ゲ
マスガ、凡ソ通貨ノ問題ハ、戰爭ノ結果及
ビ戰後經營ニ重大ナ關係ガアル、若シ此ノ
通貨ノ方針ヲ一步誤リマスレバトシデモナ
イコトヲ生ズルト云フ見地カラ、大東亞戰
爭前ニ東亞共榮圈內、又其ノ中ニ入ルベキ
濠洲、「ニュージラランド」等ノ流通貨幣ノ
高ヲ御伺ヒシテ居ツタノデアリマスガ、其
ノ資料ガ來テ居リマセヌカラ其ノ資料ヲ
見ズニ申上ゲマスガ、先ヅ第一番ニ敵性國
ノ通貨ハ敵性國ノ國權ノ表示、又其ノ國ヲ
代表スベキモノデアリマスカラ、當然此ノ
貨幣ニ對シマシテハ峻烈ナ方針ヲ執ラナケ
レバナラス、斯ウ考ヘマス、此ノ見地カラ
香港ニ於ケル英國ノ貨幣、「マレー」ノ英國
ノ貨幣、或ハ「フィリッピン」ノ米國ノ貨幣、
ソレニ對シテハドウ云フ方針ヲ執ツテ居ル
カト云フコトヲ御伺ヒ致シマス
○原口政府委員 只今御指摘ニナリマシタ
地域ニ於キマスル現在ノ狀況ハ、現地通貨
ヲ以テ表示シテ居ル軍票ヲ使用シテ居リマ
ス、然ラバ此ノ從來現地ニ流通シテ居リマ
シタ通貨、即チ御話ノヤウニ敵性通貨ニ
對シマシテ今後ドウ云フ風ニ處理シテ行ク
カ、斯ウ云フコトハ、實ハ只今ノ所御承知
ノ通り一日ト情勢ガ進展シテ參リマス、

只今ノ軍票ヲ使用シテ居リマスル時期ガ過
ギマシタナラバ、ドウ云フ風ニシテアノ地
域ノ通貨ヲ安定サセルカト云フコトニ付キ
マシテハ、能ク今後ノ見透シヲ付ケマシテ
決メテ行キタイト存ジテ居リマスガ、早急
ニ定メマスニハ、只今モ御話ノヤウニ非常
ニ重要ナ問題デゴザイマス、併シナガラ何
時マデモ之ヲ決メマセヌデ時機ヲ失シマス
ト、ソコニ既成事實ト云フモノガ自然ニ出
テ參リマシテ、ソレニ依ツテ將來ノ政府ノ
政策モ制限ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナリ
マシテモ不都合ト存ジマスノデ、ソコハ時
機ヲ逸シマセヌヤウニ、適當ナル時機ニ只
今仰セノヤウニ此ノ大事ナ通貨ノ問題ヲ處
理シテ行キタイト存ジテ居リマス

○坂東委員 ソコナンデス、例ヘバ香港デ
アリマシテモ支那ノ法幣モアリマセウシ、
又英國ノ貨幣モアル等デアアル、又「マレー」
半島デモ、英國ノモノモアルシ、各萬邦各
ノ貨幣モアルカラ、之ニ對シテ差別シタ
方針ヲ立テテ置カスト、只今政府委員ノ御
答辯ノ如ク既成事實ヲ生ジマシテ、日本ハ
不利益ニナリマスカラ、地元ノ住民ノ側ノ
貨幣ト敵性國側ノ貨幣ト扱ヒガ違ツテ居ラ
ナケレバナラス、將來既成事實ヲ生ゼシメ
ナイヤウニスルニハ、敵性國側ノ貨幣ニ對
シテハ流通ヲ禁止スルナリ、何等カノ方針
ヲ立テテ置カナイト、後カラ非常ニ不利益
ニナルカラ、其ノ點ニ付テ重ネテ御伺ヒ致
シマス
○原口政府委員 段々ト通貨ノ問題ニ付テ
御話デゴザイマスルガ、是ハ一方ニ於キマ
シテ客觀的ノ今後進行シテ參リマスル情勢
ノ關係モゴザイマス、他方通貨ノ問題ハ其
處ノ住民ノ信賴ノ點モゴザイマスシ、又仰

セノヤウニ、政治上ト云フ言葉ハ當ラヌカ
モ知レマセヌガ、大局カラ全局ヲ見透シテ
決メテ行カネバナラス重大ナ問題ト存ジテ
居リマス、能ク是ハ慎重ニ研究ヲ致シマシ
テ、時機ヲ誤ラヌヤウニ適當ナ施策ヲ執ツ
テ參リタイ、斯ウ存ジテ居リマス

○坂東委員 其ノ時機ヲ誤ルカラ申上ゲタ
イ、一體軍ノ方デハ敵性ノ貨幣、敵性側ノ
財産ハ、是ハ沒收シテ居ルモノデアリマス
カ、若シ御承知ナラバ御伺ヒシタイ
○原口政府委員 速記ヲ御止メ願ヒタイト
思ヒマス
○板谷委員長 速記ヲ止メテ下サイ
〔速記中止〕
○板谷委員長 速記ヲ始メテ下サイ
○谷口政府委員 御話ノ問題ニ付キマシテ
ハ、急ニ適切ナル處置ヲ講ジナケレバナラ
ヌコトハ全ク其ノ通りデアリマシテ、大藏
省ダケデナク關係ノ方面トモ密接ニ連絡シ
マシテ、屢、會合協議シテ對策ヲ講ジテ居ル
ノデアリマス、御心配ナイヤウニ十分努力
致シタイと思ツテ居ルノデアリマス
ソレカラ吾々ノ役所ノ方面ニ於キマシテ、
事務的ニ流ルルコトナク、國際情勢大局
ノ變化ニ伴ツテ、極ク大キナ所モ考ヘナケ
レバナラスト云フノハ洵ニ適切ナル御忠告
デアリマシテ、吾々會計ニ關係シテ居ル者
ハ、動モスレバ事務的ニ流レルト云フコト
ハ洵ニ注意シナケレバナラス點デアリマス、
御指摘ノ點ニ付キマシテハ十分注意致シマ
シテ、大局ヲ見ツツ而モ綿密ニ、濫ニ流ル
ルコトナク善處致シタイと思ツテ居リマス
○坂東委員 私ハ事務的ノコトハ是デ止メ
マシテ、大臣ニ對スル質問ハ保留シマス、
是デ私ハ質問ヲ終リマス

○板谷委員長 龜井貫一郎君

○龜井委員 二、三點御尋ネヲ致シタイノ
デアリマスガ、其ノ前ニ、丁度次官ガイラ
ツシヤイマスカラ、各方面デ政府カラ説明
シテ居ラレルノデアリマスガ、日本銀行ノ
法案、此ノ日本銀行ト正金銀行ト、ソレカ
ラ南方開發金庫ト設備營團ト管理營團ト、
ソレガドウ云フ風ニ組合ツテ居ルカト云フ
コトヲ、極ク大綱ミニ御説明ヲ願ヒマス、
アトガ非常ニ樂ダト思フノデス

○谷口政府委員 龜井サシガ只今仰セニナ

リマシタ中ニハ、戰時金融金庫ト云フノガ
アリマセヌカラ、アレモ入レマシテ申上デ
タイト思フノデアリマス、搔摘シテ簡單ニ
ト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ中々簡
單ニハ御答ヘ出來ナイ問題デアリマシテ、
一應出來ルダケ試ミテ見タイト思フノデア
リマス、日本銀行ト正金銀行ト云フ問題ガ
一番初メニ出デ参リマシタガ、日本銀行ハ
今回ノ法案ノ提出ニ依リマシテ爲替ノ業務
ヲヤルト云フコトニ相成リマシタ、是ハ前
日來御説明申上デ居ルト思フノデアリマ
スガ、東亞共榮圈ニ於ケル各地域間ノ
決済ノ中心ニ當ルト云フ職能ヲ働カセル
爲ニ、其ノ職能ヲ新ニ附加ヘタノデアリマ
ス、是ト正金銀行トノ關係ニ付キマシテハ、
正金銀行ニ於キマシテハ個々ノ爲替ノ操作
ヲスル、個人ノ方、商人、サウ云フ方ヲ相
手ニシテ直接ノ爲替取引ヲスル、日本銀行
ハ爲替業務ヲ加ヘマシタケレドモ、個人ト
會社トノ間ノ直接ノ爲替業務ト云フモノヲ
致スコトハ只今考ヘテ居ナイノデアリマシ
テ、其ノ點ニ於キマシテ正金銀行ハ直接爲
替業務ヲヤル、日本銀行ハ更ニ直接ニハ當
業者トノ間ニ取引ヲシナイデ、正金銀行ト

ノ間ニ取引ガ出來ル、又更ニソレノミナラ
ズ東亞共榮圈ニ於ケル外國、又其ノ他ニ
於ケル外國トノ間ノ國際的ノ決済協定等ノ
業務ニ當ルト云フ考ヘデアリマス

ソレカラ南方開發金庫デアリマスルガ、
南方開發金庫ハ、今後色々發展ノ仕方モア
ルカト思フノデアリマスガ、只今ノ所ニ於
キマシテハ、軍政下ニアリマスル所ノ南方
地域ニ於キマシテ、臨時軍事費ヨリ軍票資金
ノ貸付ヲ受ケマシテ、サウシテ南方ニ對ス
ル資金ノ供給ヲ致スノデアリマスルガ、南
方ニ對シマシテ爲替業務ヲ營ムト云フコト
モ、個々ノ商社等ニ對シマシテハ、ヤハリ
正金銀行等ニ當ラセルコトヲ原則ト致シマ
シテ、南方開發金庫ガ直接ニソレニ當ルト
云フコトハ致サナイ積リデ居ルノデアリマス、
南方ノ開發ニ付キマシテハ、只今當面ノ所
ニ於キマシテハ軍自身ニ於テ物資ヲ購入シ
又輸入シテ之ヲ賣出ス、販賣ト云フノモ聊
カ語弊ガアリマスケレドモ、購入シテ之ヲ
賣ルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、隨ヒマ
シテ貯藏ノ任務ハ一部軍ニ於テ營ムコトニ
相成ルカト思フノデアリマスルガ、重要物
資貯藏營團ト云フモノガ今回出來ルコトニ
ナリマシテ、是亦將來ハ南方關係ノ物資貯
藏ニ當ルコトガアルカモ知レスト思フノデ
アリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、
此ノ重要物資貯藏營團ト云フモノガ南方ト
關係ヲ生ジテ來ルト思フノデアリマス
ソレカラ色々關係ニナルノデアリマスルガ、
只今ノ御列舉ニナリマシタ問題ノ中デ、此
ノ物資貯藏營團ト云フ問題ガ出マシタ際ニ
ドレガ關係ガアルカ、戰時金融金庫ヲ次ニ
申上デタ方ガ宜イカト思フノデアリマスガ、
戰時金融金庫ハ、是ハ此ノ戰爭段階ノ發展

ニ伴ヒマシテ、從來事變以來事變的ナ金融
施設、又ハ特別ナ個々ノ人造石油或ハ產金
非鐵金屬、鑛業等ニ對スル特別ナ投資、融
資ノ機關又ハ施設ガ出來テ居リマシタノデ
アリマスルガ、此ノ戰爭段階ノ發展ニ伴ヒ
マシテ、專ラソレヲ職能トスル所ノ機關ヲ
作ルコトガ生産力擴充其ノ他當面ノ國策上
必要デアル、斯ウ云フ趣旨デ設ケラレタモ
ノデアリマシテ、戰時金融金庫ハサウ云フ
生産力擴充、其ノ他當面ノ國策ノ爲ニ設
ケラレタモノデアリマスルガ、只今申
シテ居リマシタ物資貯藏營團ニ對シテ
モ、物資貯藏ノ爲ニ融資又ハ投資ヲスルコ
トガ出來ルト云フ仕組ニ相成ツテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ從來戰時金融金庫ガ
出來マスマデニ、事變以來ノ跡ヲ追ツテ
見マス、色々特別ナ産業ニ對スル所ノ
金融機關ヲ設ケマシタ外ニ、從來アリマス
ル金融機關ニ於キマシテ、事變的ナ金融
ヲヤセル施設ヲ講ジマシタコトヲ只今申上
ガタノデアリマスルガ、興業銀行ニ付テモ
其ノコトガ當ルノデアリマシテ、興業銀行
ニ於キマシテハ、總動員法十一條ニ依ル所
ノ融資命令ヲ發動サセルト云フコトヲ專ラ
致シテ参リマシテ、數十億ノ融資ヲ只今マ
デ實行シテ参ツタノデアリマス、今回更ニ
戰時金融金庫ヲ設ケルト云フコトニ相成リ
マシタ、是ハ興業銀行ニ於ケル強制融資ノ
方法ニ依ル所ノ生産擴充、其ノ他ノ資金ノ
供給ト云フモノモ從來相當圓滿ニ行ハレテ
參ツタノデアリマスケレドモ、度々申シマ
ス通りニ、色々此ノ段階ノ進歩ニ伴ヒマシ
テ、興業銀行ノ一部門ダケニソレヲヤラセ
テ置カナイデ、專ラソレヲ業務トシマスル
所ノ專門ノ機關ヲ設ケサセテ、サウシテ其

ノ機關ニハ生産擴充以外未動遊休設備ニ對
スル所ノ金融デアリマスルカ、又物資貯藏
ノ金融デアリマスルカ、又有價證券ノ價格
ノ安定デアルトカ、サウ云ツタヤウナ使命
ヲ持チマシタ戰時的ナ金庫ヲ茲ニ特設スル
ト云フコトニ致シタノデアリマス
勸業銀行ノ御話モ出タノデアリマスガ、
勸業銀行ニ付キマシテハ、間モナク、過日
貴族院ニ於テ決議ニナリマシタ勸業銀行法
中改正法律案ノ御審議ヲ願フ段取トナルト
思フノデアリマスガ、此ノ勸業銀行モ從來
不動産銀行トシテ其ノ基礎ノ堅實ヲ期シマ
スル爲ニ、貸付又ハ擔保ノ鑑定價額其ノ他
ニ付テ色々制限的ナ規定ガアツタノデアリ
マスルガ、之ヲ撤廢致シマシテ、サウシテ
時局ノ事業金融ノ方ニ進出スル所ノ素地ヲ
作ラセルコトニ今回改正ヲ致シタノデアリ
マス、是デ興業銀行ト並シデ事業金融ノ分
野ニ出ルコトニナルノデアリマシテ、此ノ
點ニ關シマシテハ衝突シタリ打突ツタリ
スルコトガアリハシナカ、兩者ノ間ニサウ
云フコトガ起リハシナイカト云フ御質問ガ
アルト云フコトヲ普通ニ想像出來ルノデア
リマスケレドモ、此ノ點ニ付キマシテハ政
府ト致シマシテハ、其ノ間自ラ分野ノ明瞭
ナルモノアリ、勸銀ハ勸銀トシテ地方ニモ
出マスシ、又地方ノ比較的小ナルモノヲ受
持ツコトニ相成ルデアラウ、斯様ニ御説明
申上デヨウト云フコトノ用意ヲ致シテ居ル
ノデアリマス

ソコデ最後ニ戰時金融機關ト產業設備營
團トノ關係ノ問題デアリマスガ、產業設備
營團ハ去ル七十七議會ニ於テ御協賛ニナリ
マシテ出來上ツタノデアリマスルガ、此ノ
兩者ノ關係ニ付テハ色々御質問モ御疑念モ

或ハアルカト云フコトヲ豫テ考ヘテ居ルノ
デアリマスルガ、戰時金融庫ハ産業設備
營團ノ業務ニ關係ノナイ各種ノ業務ヲモ營
ンデ居ルモノデアリマシテ、産業設備營團
ニ於キマシテハ戰時緊要設備ト云フ文句ガ
使ツテアリマシタガ、而モソレデモ作ルコ
トガ極メテ困難ナモノニ付テ、サウ云フモ
ノダケヲ自ラ作ツタリ貸付ケタリスルト云
フコトガアツタト思フノデアリマス、然ル
ニ戰時金融庫ニ於キマシテハ、サウ云フ
戰時緊要設備ナラバ、資金ノ調達ガ難カシ
イ場合ニハ別ニ制限ナク、ドウ云フ種類ノ
モノデモ金融ノ途ヲ付ケテアルコトガ出來
ルト云フコトニ相成ツテ居リマス、ソレカ
ラ此ノ産業設備營團ハ、未動遊休設備ノコト
ヲ扱フト云フコトガ主タル動機デ出來上ツ
タノデアリマスガ、コチラノ戰時金融庫ニ
於キマシテモソレニ對シテ金融ハ致スノデ
アリマス、致スノデアリマスルガ、産業設
備營團デアルコトニナリマスモノハ、ソレヲ
全部買付ケテ自ラ保有スルト云フヤウナ、
現實ニ其ノ處置ニ乗込ムト云フ所ノハツキ
リシタ限界ガアルノデアリマス、戰時金融
庫ノ方ハソレニ金融ヲ付ケ融資投資ヲス
ルダケノコトデアリマス、其ノ他色々御説
明申上ゲル點モ詳細ニ互リマシタナラバ
リマスルシ、尙ホ進ンデ御質問ニ依リマシ
テ御説明申上ゲテ宜シト思フノデアリマス
ガ、産業設備營團、戰時金融庫、此ノ兩
者ノ間ニハ特ニ色々關係スル所ガ多イト思
フノデアリマス、是ハ將來此ノ産業行政ニ
關係ノアリマスル商工省、ソレカラ金融行政
ニ與ツテ居リマスル大藏省、此ノ兩者ノ間
ニ極メテ緊密ナル連絡ヲ執リマシテ、サウ
シテ刻下ノ問題デアル所ノ國家緊要設備ノ

返シテ申上ゲマス、例ヘバ「フリーピ
ン」デ「バルブ」ヲ買付ケル、此ノ買付ニ關
スル方針等ニ付キマシテハ、別ノ委員會デ
説明ガアリマシタノデ、龜井サシ御承知ダ
ラウト思ヒマスルガ、直接商社、南方ニ經驗
ノアリマスル會社ヲ使ツテアルト云フ段階
ガ直ガ來ルカドウカハ一寸分ラナイノデア
リマスルガ、仰セニナリマシタヤウナコト
ガ其ノ内ニ起ツテ來ルダラウト思フノデア
リマス、起ツテ來ルト致シマスレバ、其ノ
商社ハ買付ノ資金ヲ南方開發金庫カラ借入
レマシテ、ソレヲ買ツテ、之ヲ内地ニ送ル
ニ付キマシテハ輸送ノ關係、簡單ニハ參ラ
スカト思ヒマスルガ、先ヅソレガ荒筋デ以
テ内地ニ參リマシタ場合ニ、其ノ品物ハ物
資貯藏營團ニ賣ラレル場合モアリマスルシ、
サウデナイ「バルブ」ノ統制ノ團體ニ賣ラレ
ルコトガアルカトモ思フノデアリマスルガ、
御話ノヤウナ筋道ヲ辿リマシテ、物資貯藏
營團ノ手ニ入ルト云フコトモ「コー
ス」トシテ考ヘラレルノデアリマス、其ノ
場合ニ於キマシテ、物資貯藏營團ガ金繰
都合ガアリマシタ場合ニ於キマシテハ、是
ハ金融庫カラ資金ヲ借入レルト云フコト
モ可能デアリマス、戰時金融庫ハ之ニ貸
スト云フコトヲ使命ノ一ツトシテ持ツテ居
ルノデアリマス、ソコデ戰時金融庫カラ
借りマシテ、物資貯藏營團ガソレヲ持ツテ
居ル、金融庫ト致シマシテハ主タル資金
ハ戰時金融債ニ依ツテ賄フ、斯様ナ仕組
ニ相成ツテ居リマス、兎モ角モ貯藏營團ガ
「バルブ」ヲ持ツテ居リマス、産業設備營團
ニ於キマシテハ未動遊休設備——此ノ場合
ニ於テ例ニ御舉ゲニナリマシタノハ恐ラク
遊休設備デアリマセウ、其ノ遊休設備ニ對

整備充實、ソレカラ未動遊休設備ノ活用、
斯ウ云フ方面ニ大イニ貢獻スルコトガ必要
デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、今龜井サシノ御列舉ニナリマシタ問
題、色々ノ金融、營團、銀行間ノ關係ニ付
キマシテハ、是ハ總括的ニ豫メ用意ヲシテ
御答ヘ申上ゲテモ宜イヤウナ重要ナ問題デ
アツタノデアリマスルガ、只今卒然トシテ
甚ダ不十分デアリマスルガ、一應此ノ程度
ニ止メマシテ、重ネテ御尋ネガアリマシタ
ナラバ更ニ申上ゲタイト思フノデアリマ
ス

シテ、商工省ノ遊休設備處理方策ニ依リマシ
テ、偶、買上ニ方針ノ決マツテ居ツタモノデ
アリマスルナラバ、産業設備營團ガ買上ゲテ
持ツテ居リマセウ、又買上ゲルニモ當ラナ
イ、持ツテ置イデ宜カラウト云フノデ金
融ヲ付ケヨウト云フ程度ノモノデアリマス
ルナラバ、是ハ戰時金融庫ガ恐ラクハ金
ヲ出シマシテ、ソコヘ保有ヲサセテ居リマ
セウ、兎モ角モ御話ニナリマシタヤウナ筋
道ニ於テ、ソコニ遊休設備ノ一塊リガ横ハ
ツテ居ル、ソレニ對シテ此ノ貯藏營團ガ持
ツテ居リマシタ「バルブ」ヲ買ツテ參リマシ
テ充ガフト云フコトマデハ、産業設備營團
ハヤラナイコトニナツテ居ルト私ハ了解シ
テ居リマス、是ハ産業設備營團ニ買上ゲラ
レテ、産業設備營團ガ持ツテ居ルモノニ付
テハ、其ノ持主トシテ産業營團ガ原料ノ工
面ハ致シマセウ、又元ノ人絹會社ガ資金ヲ
戰時金融庫カラ融通ヲ受ケテ保有シテ居
ルモノニ付キマシテハ、其ノ人絹會社自體
ガ原料ノ手當ヲシナケレバナリマセウ、ソ
レ等ノモノガ物資貯藏營團ニ「バルブ」ガ
アルコトヲ知ツタナラバ、ソレカラ渡リ付
ケテ供給ヲ受ケテ、其ノ遊休シツツアツタ
所ノ人絹工場ガ動キ出ス、サウ云フ道筋ハ
全ク御話ノ通りデアルト思フノデアリマス、
「バルブ」ガ南洋カラ内地ニ參リマシテ、工
場ノ原料トシテ活用サレルニ至リマスルマ
デ、只今御話ノ例ダケデ考ヘテ見マシテモ、
南方開發金庫ト、貯藏營團ト、産業設備營
團ト、戰時金融庫ガ額ヲ出ス、斯ウ云フ
ヤウナ關係ニ相成ルト思フノデアリマス、
一應御答ヘ申上ゲマス

○龜井委員 有難ウゴザイマシタ、大體了
承致シマシタガ、尙ホ細カイ點ハ同僚喜多
君ノ方デ後デ御質問ノ願ヒマシテ、唯私ハ
具體的ニ知リタイノデスガ、一例ヲ引イテ
見マス、例ヘバ「フリーピン」カラ「パ
ルブ」ヲ持ツテ來ル、サウシテ日本デハ直
グ後デ、又ハ作戦終了ニ並行シテ人絹ノ輸
出ヲスル、斯ウ云フ場合ニ、「バルブ」ハ南
方開發金庫カラ交付サレル軍票ヲ現地ノ臺
灣銀行乃至正金銀行カラ金融ヲ受ケテ買付
ケテ、サウシテ或ル場合ニ於テハ重要物資
貯藏營團ノ方デソレヲ持ツテ居テ、産業設
備營團デ内地ノ今原料不足デ動イテ居ナイ
人絹工場ノ遊休設備ヲ抱イテヤツテ、其ノ
抱イタ有價證券ヲ結局銀行ヲ通ジテ日本銀
行ガ抱イテ、サウシテ其ノ内原料ガ揃ヒ、
他ノ藥品ガ揃ツテソレガ動キ出セバ、南方
ニ人絹ノ輸出ガ出來ル、具體的聯關デ行ク
トコンナヤウニ解釋シテ宜シイノデアリマ
スカ

○谷口政府委員 具體的ナコトデアリマス
ルガ、只今仰セニナリマシタ點ハ大體サ
ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、繰

承致シマシタ、サウシテ其ノ來タ人絹ヲ、

今度ハ南方共榮國ニ輸出シタトキニ、其ノ受
取爲替ハ、今ノ所當分ノ間ハヤハリ買取輸出
買取輸入ト云フ形ヲ續ケ、決濟機構ガ出來
テ、其ノ結論ガ自然爲替ニナツテ來ル、斯
ウ云フ形デゴザイマスネ

○谷口政府委員 先刻ノ例デアリマス、
商社ガ南洋デ買付ケマスニハ南方開發金庫
カラ軍票資金ヲ借入シテ買付ケタ、斯ウ云
フ場合ヲ舉ゲテ御話致シマシタ、ソレデ内
地ニ屆キマシテソレガ賣レマシタ場合ニ於
テハ、南方開發金庫ニ對シテ内地ニ於テ圓
ヲ以テ決濟スルト云フ關係デゴザイマセ
ウ、只今ノ所ハサウ云フ簡單ナル場合ガ實
際問題トシテアルノデアリマシテ、モウ少
シ交通ガ頻繁ニナツテ參リマシタナラバ、
南方諸地域ト内地トノ間ニ、色々爲替上ノ
問題ガ出テ來ルダラウト思ヒマス

○龜井委員 有難ウゴザイマシタ、能ク了
解ヲ致シマシタ、アト伺ヒタイ點ハ、此ノ
間世耕君ガ管理通貨ト「インフレ」ノ問題ヲ
提示致サレマシタ、ソレカラ田村君ガ産業金
融ト人ノ問題ヲ提示サレマシタガ、其ノ問
題ヲモウ少シ掘下ゲテ念ノ爲ニ伺ツテ置キ
タイノデアリマス、ト申シマシテモ、私ハ
別ニ本案ニ反對ナノデハナクテ、元々大體
生産ノ面ニシカ經驗ガゴザイマセス、流通
ノコトハ極メテ得意ト致ス方デアリマス
ノデ、詳シイ理論モ分リマセヌシ、御教ヘ
ヲ願ハナケレバナリマセヌガ、大體生産ノ
面ニ立ツ者ハ銀行主義的ナ管理通貨ノ影
響下ニアリマシテ、隨テ本案ハ非
常ニ歡迎ヲスルモノデ、却テ一時健全財政
ノ名ノ下ニ現ハレタ通貨主義的ナ政策ニ對
シテ非常ニ批判ヲ持ツテ居ツタモノデアリ
マスルガ、今日極メテハツキリト出テ參リ

マシタ所ヲ歡迎スルモノデアリマスガソレ
ニモ拘ラズヤハリ此ノ「インフレ」ノ問題ヲ
取上ゲマスルノハ、世耕君ガ御聽キニナツ
タ意味モ、率直ニ言ヘバ、全體トシテ卒然
トシテ管理通貨ガ現ハレテ參リマシタ爲ニ
理論的ニモマダ一般的ニハ掘下グラレテ居
ラスシ、機構的ニモ、人的ニモマダ慣レテ
居ラスカラ、其ノ點ニ付テ、無論國策ノコ
トデアリマスカラ、一路邁進セネバナリマ
セスケレドモ、出來ルダケ其ノ弊害ハ避ケ
テ行カナケレバナラナイト云フ點カラ、御
議論ガアツタノデアラウト思ヒマス、私共
ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
是ハ違ツテ居ツタ御教ヘヲ願ヒタイノデ
アリマスケレドモ、兎ニ角管理通貨ト云フ
モノハ、貯蓄ガ大ケケレバドウシテモ消費
ガ少クナルシ、消費ガ大ケケレバ貯蓄ガ少
クナル、此ノ矛盾ガ一方ニアリ、一方ニ於
テ大キナ消費ガ出テ來レバ投資ハ大キクナ
ラナケレバナラナイシ、大キナ投資ガアレ
バ大キナ消費ガナケレバナラス此ノ二ツノ
矛盾問題ノ中カラ、通貨含シテ茲ニ信用供
與ガ現ハレテ來ルノデアラウト思フノデア
リマス、サウシテ信用ガ通貨其ノ他ニ依ツテ
供與サレテ出テ參リマス場合ニハ、詰リ此ノ
要綱ノ説明ヲ拜見致シマス、産業金融ト
云フ言葉ガ使ツテアリマス、是ハ恐ラク極
メテ常識的ナ意味デ御使ヒニナツタノデハ
ナイカト了解致シテ居リマスガ、併シ本質
的ニ出テ來ルモノハ形トシテハ商業金融デゴ
ザイマス、詰リ本當ノ意味ノ狹義生産金融
デハナイ譯デス、サウナルト理論的ノ問題
ハドウナルカト云フト、商業金融ト云フモノ
ハ資本ノ維持ト云フコト、流通ト云フコト
ニハ非常ニ役立ツノデアリマスガ、新シイ

其ノ根源的ナ生産要素ノ結合、即チ資本形
成ト云フコトシハ原則トシテハ入ツテ行カ
ナイデアリマス、ソレガ入ツテ行ク場合ハ
ドウ云フ場合カ、從來承ハツテ來タ議論デ
ハ、ソコニ完全ナル就業ガ存スル事態ニ於
テハ、ソレガ「インフレーション」ニナルト
云フヤウナコトヲ吾々ハ習ツテ居ルノデア
リマスガ、ソコニ完全ナル就業デナクテ、
更ニ結合セラレナケレバナラナイ根源的ナ
生産要素ガ澤山アル場合ハ資本形成トナル
ト云フコト、即チ將來量ダケ廣クナツテ來
ルノデアリマスカラ、之ヲ平面的ニ見レ
バ、決シテソレガ「インフレ」ニナル虞ハナイ
ヤウデアリマスケレドモ、ソレヲ逆ニ今度
ハ圓價值ノ問題カラ考ヘテ見ルト、是ハ先
程ノ問題ニ入ルノデアリマスガ、吾々ハ昔
カラ圓ト云フモノヲ金ダトハ考ヘテ居ナ
イ、金ニ表現セラレタル生産費ト考ヘテ、
詰リ労働ニ還元スルモノト考ヘテ居リマス、
サウスルトヤハリ労働ノ「コスト」ト云フモ
ノガ非常ニ安クナケレバ是ハ「インフレ」ニ
ナルノデス、昨日ノ大藏大臣ノ御演說ニ非
常ニ賛成シテ居ル所デアリマスガ、モウ一歩
入ツテ行キタイ所ハ「コスト」ノ問題デアリ
マス、ダカラ此ノ國內ノ工業生産ノ「コス
ト」ト云フモノガウツカリ高クツタナラバ、
是ハ非常ニ平面的ナ意味デ色々新シイモ
ノハ出テ參リマスカラ、是デ所謂資本形成
ノ功程ト云フモノガ出テ來ルノデ、ソコデ
初メテ國防國家トカ、生産擴充トカ、共榮
圈ノ確立ト云フコトガ出テ來ルト思フノデ
アリマスガ、此ノ點ニ付テ今日日本ノ生産
「コスト」ハ相當高イト思フノデス、サウ
ナルト相當「コスト」ヲ抑ヘテ行クト云フ
コトハ、世耕君ニ對スル山際サシノ此ノ

間ノ御答辯ノ中ニハ、貯蓄ノ獎勵ダトカ、サ
ウ云フ外ノ周圍ノ方カラ「インフレ」ニナ
ナイ措置ヲ執ツテ來ルト云フ御考ヘデアリ
マシタガ、一タビ管理通貨ノ問題ニ入りマ
シテ、サウシテ其ノ生産信用ノ問題ニ入ツ
テ參リマス、ドウシテモ「コスト」ノ問題
マデ深く御入りニナラナケレバイケナイノ
デハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ
考ヘ方ニ付テドウ御思ヒニナルノデゴザイ
マセウカ、ソレガサウデアアルナラバ、又ソ
レニ對シテドウ云フ風ニ行カト云フ風ナ
順序デ伺ツテ見タイト思フノデアリマス、
以上ノ點ニ對シテ御所見ヲ拜承シタイと思
ヒマス

○山際政府委員 只今ノ御尋ネニ對シマシ
テ、一應私カラ申上ゲマシテ、尙ホ足ラザ
ル所ハ後デ補ツテ戴クコトニ致シマス
第一ノ問題ハ、管理通貨ノ建前ヲ取ル場
合ニ於テ、「インフレーション」ト云フ問題
ヲドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ點ノ御尋ネ
デアツタヤウニ思ヒマス、先般申上ゲマシ
タ通り、管理通貨ノ體系ヲ取リマス背景ト
致シマシテハ、國家ノ各般ノ經濟活動ガ、
國家ノ企圖スル計畫ニ從ヒマシテ、綜合的
ニ運營セラレルコトヲ前提ト致シテ居ルノ
デアリマス、此ノコトハ資金ノ部面ニ付テ
モ同様デアリマシテ、國家トシテハ先ヅ根
本ニ於テ、今後國家目的ヲ達成スル上ニ於
テ、ドレダケノ資金ガ必要デアルカト云フ
コトヲ考ヘマシテ、如何ニスレバソレダケ
ノ資金ノ蓄積ガ可能デアルカト云フ點ヲ考
ヘ、而シテ其ノ蓄積サレル資金ヲ國家ノ所
要ニ從ツテ或ハ公債ノ上ニ、或ハ事業金融
ノ上ニ、各配合スル計畫ヲ立テ譯デアリ
マス、隨テ其ノ計畫ニシテ金融部面ニ於テ

事態ノ判斷ヲ誤ラザルノミカ、其ノ内容ガ能ク他ノ物資ノ關係、勞務ノ關係等ト調和ノ取レテ居ル關係ニアルモノデアリマスナラバ、其ノ資金計畫ニ從ツテ進ミマス限リニ於テ、通貨ノ管理セラレタ状態ニ於テ進行シ得ル、斯様ナコトニ相成ルト思フノデアリマス、昨日來大藏大臣カラモ申シマシタ通り、國債消化ノ資金モ、ソレカラ事業金融ニ要スル資金モ、根本ハ悉ク國民ノ資金ノ蓄積ニ俟ツモノデアルト云フ原則、是ハ如何ニ通貨ガ管理セラレ、又計畫的ニ資金ガ配分セラレマシテモ、基礎トナルベキ原則デアルトハ疑ヒヲ容レナイト思フノデアリマス、併シナガラ實際ノ運行ニ當リマシテ、蓄積セラレル資金ノ時期的ナ、若シハ場所的ナ、或ハ又方向ニ關スル一時的ノ食違ヒト云フモノハ、是ハ實際ノ經濟現象トシテハ避ケ難イ所デアルト思フノデアリマス、今少シ經テバ所要資金ハ蓄積サレルガ、金ノ必要ガ現在起ツテ居ルト云フ場合ニ於テ、ソコデ日本銀行ガ將來ノ資金ノ蓄積ヲ引當テトシテ、茲ニ信用ノ供與ヲ行フコトニナラウト思フノデアリマス、場所的問題ニ付テモ同様、又資金ノ性質、長期、短期、商業資金、事業資金、ト云フヤウナ、サウ云フ資金ノ性質的ノ差異ニ付テモ同様ノコトガ言ヘルト思フノデアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ、日本銀行ガ信用ノ供與スルトカ、或ハ通貨ノ發行ニ依ル信用ノ造出ト云フ手段ニ依ツテ賄フ部分ガ商業的部門ニミ限ルカト云フ問題ニナリマス、形ニ於テハ短期ニ資金化シ得ル、短期ニ決済セラルベキモノト云フ要素ハ必要デアリマスケレドモ、其ノ金ノ出テ行ク先自體ガ商業的ナル機構デナクテハナラヌ

ト云フコトニハ相成ラヌカト思フノデアリマス、例ヘバ事業資金ノ需要ガ現在殺到致シテ居リ、現在ノ時期ニ於テ其ノ事業ヲ可能ナラシメルコトガ必要デアルニ拘ラズ、尙ホ資金ノ蓄積ガ之ニ足リナイト云フ場合ニ、一時日本銀行ガ事業ニ必要ナ資金ヲ調達スルト云フコトハアリ得ルト思フノデアリマス、其ノ形ガ例ヘバ、社債市場ガ梗塞シテ居ル、新規ノ社債ハ出サナクテハナラヌ、併シナガラ其ノ状態ニ於テハ社債ガ出ナイト云フ場合ニ、一時日本銀行ガ既發債ヲ買取ツテ資本市場ノ餘力ヲ増シテ、サウシテ新シイ社債ノ消化ヲ圖ル、其ノ内ニハ段々資金ノ蓄積ガ計畫通り進行サレテ來テ、日本銀行手持ノ社債ガ賣レテ行クト云ツタヤウナ働キヲナス部面モアラウカト思フノデアリマシテ、短期資金化ト云フ點ハ要素デアリマスガ、其ノ資金自體ノ出テ行ク先カラ見マス、必ズシモ商業的機構ノミニ出廻ルコトモナイカト思フノデアリマス、次イデ日本銀行ノ行ヒマス産業金融ノ問題ニ付テ御話ガアツタノデアリマス、是ハ御話ノ通り最モ分リ易イ表現ヲ採リマス意味ニ於テ或ハ産業金融ト稱シ、事業金融ト稱シテ參ツタノデアリマスガ、其ノ持つテ居リマス意味ノ内容ハ、前段申上ゲマシタヤウニ、方向ハ産業的、事業的の方面デアリマスケレドモ、總テ間モナク決済セラレ、又資金化セラレル可能性ノ見透シガ十分立ツテ居ルト云フ要素ハ具ヘテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス

是ハ一ツノ御考ヘトシテ豫テ私モ承ツテ居ツタ所デアリマス、必ズシモ其ノ御所説ノヤウナ仕組ガ其ノ儘私共吞込タルカドウカハ分リマセスケレドモ、大體勞働「コスト」ト申シマスカ、生産費ヲ成ベク安定シタ状態ニ於テ維持シテ行クノデナケレバ、圓ノ價值ト云フ問題モ安定ヲ期スルコトハ困難デアルト云フ考ヘ方ハアルノデアリマス、隨ヒマシテ或ハ經理統制令ノ施行ニ當リマシテモ、又ハ賃金統制令ノ施行ニ當リマシテモ、其ノ方面カラスル圓價值ノ維持ノ問題ハ只今申上ゲマシタヤウナ筋合ヲ以テ考慮セラレ、其ノ方針ニ從ツテ運営セラレテ居ル、斯様ニ私共ハ承知致シテ居ル次第デアリマス、問題ガ非常ニ困難且ツ廣汎デアリマスノデ、御答ヘ漏レノ點モ多イカト思ヒマスガ、尙ホ御質問ニ依リマシテ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス

○龜井委員 洵ニ御親切ナ御答辯デ能ク了承致シマシタガ、此ノ問題ハ非常ニ表現ガ難カシイノデ、色々誤解ヲ生ムトイケマセヌ、金本位論者デモ、國際商品トシテノ金ガ勞働ニ還元スルト云フ議論ハ決シテ「マルクス」論デモ何デモナイノデアリマシテ、要スルニ「コスト」ノ問題デアツタノデアリマス、其ノ點ヲ一ツ此ノ際ハツキリシテ置キタイアソコデ先程ノ第一點「インフレ」ニハナラヌ、又ナラヌコトヲ希望スルシ、私ハサウ云フ操作ト云フモノヲ信賴致シマス、第二點ハ詰リ將來ノ所得ニ對スル豫メ銀行ニ依ル所ノ信用ノ——何ト申シマスカ、造リ出シト云フ問題ダト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ動クコトヲ私モ期待シテ居ル譯ナノデアリマス、ソコデ形ハ商業金融デアルケレドモ、行ク先ハ工業金融ダト云フ面ガ多ク考ヘラレテ居ル、是モ了承スルノミナラズ、私ハサウ云フ風ニナルコトヲ實ハ昔カラ希望シテ居ルノデス、隨テ此ノ御措置ニ贊成スル者デアリマス、唯私少シ申上ゲ損ツテ、マダ局長ノ御諒解ヲ得テ居ラナイ部面ガアルノデアリマスガ、商業金融、産業金融ト云フ言葉ハ一ツ此處デ取りマセウ、又語弊ガアルトイケマセヌカラ……、要スルニ日本銀行乃至ハ其ノ系統機關ノ銀行ガ造出スル信用ハ投資信用デハナイ、再投資デス、私ノ言フ意味ハ、本當ノ工業金融ト云フモノハ無論再投資モナケレバナラヌノデアリマス、十分ニソレガ「カバー」セラレナケレバ、半製品ガ轉回スル等其ノ他ノコトハナイノデアリマスケレドモ、基礎的ニ工業資本ノ形成ヲ、即チ本當ノ工業投資ト云フモノ、ソレガ成長シテ行ク形ニシナイト、工業ハ動イテ行カヌノデハナイカ、ソコデ出テ參リマス問題ハ、配當ハ制限セラレナケレバナラヌ、ケレドモ高イ利潤即チ収益性ト云フモノハ見テヤラナケレバナラヌ、茲ニ一ツノ矛盾問題ヲ解決シナケレバナラヌト云フ問題ガ出テ參リマス、ソコデサウ云フ商ニ於キマシテ——餘リ唯單語ノ表現ダケ使ヒマスルト誤解ガアルトイケマセヌカラ、一寸時間的ニ委員長ノ御許シヲ得テ、例ヲ引イテ申上ゲタイト思ヒマス、例ヘバ斯ウ云フコトニナリマス、極ク常識的ナ例ヲ引キマス、工業組合ノ金融ノ例ヲ引キマス、一番初メニ普通ノ千分ノ一「ミリ」臺ノ旋盤デ、ソレガ例ヘバ一臺千圓トシテ、ソレニ三百圓ノ金融ヲ致シテ居リマシタガ、急ニ精度ガ一万分ノ一「ミリ」ニナツタトスル、サウスルトソレヲ「スクラップ」トシテ銀行ハ見テ回收シナケレバナラヌト云フコ

トニナリマス、是ハ初メカラ高い精度ノモノニ金融シテ置イタナラバ、ソレハ「スクラップ」ニナツテ來ナイ、是ガ一ツノ例デアリマス、モウ一ツノ例ヲ申上ゲマス、例ヘバ茲ニ螺旋バカリ切ツテ居リマス所ノ六尺ノ旋盤ガ五十臺アルトスル、是ハ銀行ナド相當高ク見ル譯デアリマス、併シソレヲ實際動カシテ居リマス所ガ、螺旋切りデアリマスカラ二尺ダケデヤリマシテ、四尺モノガ一年ニ一回モ動カナイトスレバ、嚴密ナル工業立地ノ計算カラ申シマス、是ハ「スクラップ」ニナル譯デアリマス、一方ニ於テサウ云フ所ヲ嚴密ニヤラナケレバナラナイト同時ニ、一方ニ於テハ一ツノ「グラインダー」ヲ試作スルニハ、ドウシテモ五十萬圓位掛カル譯デアリマス、ソコデ問題ガ元ニ戻ル譯デアリマス、ケレドモ、一寸例ハ惡イノデスガ、上カラグーッと行クモノハ、牛乳デ言ヘバ上皮ノ恰好ハ大變良ク出來テ來ト云フコトニナルデアリマスケレドモ、ソレデ今度ハ先程田村君ガ取上ゲラレタ問題ニナルデアリマスガ、御承知ノ通り「アメリカ」ノ「ペンキング・システム」ヲ初メ見習ツテ、「デボジット・バンク」ト「コンマーシャル・バンク」ガ出テ來タ、折角日本銀行法ガ出來、一方ニ於テ、戰時金融庫ガ出來、興業銀行、勸業銀行ガ出テ參リマシテモ、サウ云フ機構ノ下ニアル場合ニ於ケル本當ノ能率生産ノ科學的ナ「コスト」ヲ出スト云フ所マデ行カナイト、ソレガ商業金融ノ一ツトシテ空廻リスルト、本當ノ工業ノ資本ノ形成ノ方ガ疎カニナルデアツテ、其ノ點ニ對スル所ノ御配意如何ト云フ問題ニナル譯デス、此ノ點ニ付キマシテ御所見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○山際政府委員 工業資本ノ形成ノ問題ニ關スル段々ノ御質疑、非常ニ難カシイ問題ダト思フノデアリマスガ、御答ヘ出來マス範圍ニ於テ所見ヲ述ベタイと思ヒマス、御示シノ例ニ依リマシテモ、工業政策ヲ實行致シマス上ニ於キマシテ、工業技術ノ進歩ガ行ハレルトカ、或ハ工業政策ノ目標ガ轉換セラレルト云フヤウナ關係ニ於キマシテ、既存ノ工業設備ガ其ノ意味ヲ失ツテ來ルト云フヤウナ場合、是ハ今日ノ如ク經濟情勢ノ變轉ノ多イ場合ニ於テハ相當豫想シ得ル事象デアリマス、サレバコソ前般來國民更生金庫デアリマスルカ、産業設備營團デアリマスルカ、更ニ今回ハ又戰時金融庫等ノ御審議ヲ願ツテ居ルノデアリマシテ、是等ガ相俟ツテ此ノ工業面ノ轉換ニ對應スル施策ハ講ジテ參リ得ルコト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ伴ヒマシテ、普通銀行ト所謂從來ノ意味ニ於ケル商業銀行ガ、ヤハリ此ノ際工業資本ヲ形成スル見地ニ於テ働クノデナクテハ、折角茲ニ生産力擴充ヲ目指ス所ノ經濟政策ハ實行出來ナクナル處ガナイカ、之ニ對スル施設ハドウデアアルカト云フ御尋ネガ續イテ起ツタト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ先般來モ大藏大臣ガ隨所ニ於テ申上ゲテ居リマスル通り、今後ノ金融ノ主クル部面ガ吾々ノ申ス言葉ニ於ケル生産金融、事業金融ノ方面タラザルヲ得ナイト云フコトハ、是ハ客觀的情勢デアリマス、資金調整法ノ運用ニ於キマシテモ、又銀行等資金運用令ノ運用ニ於キマシテモ、勢ヒ資金ハ生産部面、工業部面ニ多量ニ流レザルヲ得ナイノデアリマシテ、此ノ點ハ如何ニ商業銀行等ガ然ラザル融資先ヲ求メマセウトモ、ソレハ左様ナ

途ハ許サレテ居ラスノデアリマス、客觀的情勢カラモ商業銀行等ハ其ノ方面ニ勢ヒ資金ヲ出サザルヲ得ナイ、之ニ加ヘマシテ最近ハ金融機關ヲ統制致シマスル爲ニ、金融統制團體ノ設立モ企圖致シテ居ルノデアリマス、此ノ金融統制團體等ニ望ンデ居リマスル要點ノ一ツハ、ヤハリ其ノ資金ヲ只今ノ國家當面ノ要求ニ應ジテ生産部面ニ潤澤ニ流シテ貰フト云フコトガ、其ノ要點ト相成ツテ居ルノデアリマス、今日商業金融等ノ衝ニ當ツテ居リマスル人々モ、能ク既ニ斯カル客觀的情勢、國家的必要ヲ考ヘテ居ラレルノデアリマスカラ、今後ニ於キマシテハ統制會ノ運用等ト相俟チマシテ、此ノ商業銀行等ノ方面ニ於キマシテモ工業ヲ發達サセルヤウニ、御期待ニ副ヒ得ルヤウナ活動ガ續ケラレルノデハナイカ、左様ナ期待ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○龜井委員 屢次サウ云フ御方針ヲ承リ、尙ホ此ノ際ソコヲ明瞭ニ承リマシタコトハ、洵ニ幸ヒトスル所デアリマスガ、茲ニ私ガ遠慮ナク理窟デナク申上ゲマス、例ヘバ「ドイツ」ナシカデ統制通貨デ、銀行ガ非常ニ事業金融デ動キナガラ、尙ホ取引所ナンカラ多少違フ意味ヲ持タシテ殘シテ居リマスル理由ハ、貸付ト云フモノ、銀行カラノ信用ノ官僚性ト云フ言葉デ表現シテ居リマスガ、ソレガドウモ實際ノ事業金融トビツタリ行カナイ點ガアルト云フ所ヲ非常ニ苦勞シテ居ルヤウデアリマス、此ノ點ヲ昨日田村君ナドハ人ト云フ問題デ表現サレタノデアラウト思ヒマスガ、ソレヲ少シ裏カラ御説明ヲ申上ゲルコトヲ御許シテ願ヒタイと思ヒマス、詰リモウ既ニ管理通貨ノ時代ニナツテ參リマス、會社ノ「ブック・キービ

ング」マデモ見方ガ變ツテ來ナケレバナラヌ、シツカリ物ノ流レトシテ捉ヘテ來ナケレバナラヌノデ、從來ノ貸借對照表トカ何トカ云フコトデイクナクナツテ來ルト云フコトガ出テ來ル、其ノ點ハ抽象論的ニ申シマス、御諒解ガ相成リニキイト思ヒマスノデ、極ク簡單ニ一ツノ實例ヲ申上ゲマスガ、例ヘバ假ニ日本ノ勞働者一人當リノ一年ノ生産高ヲ三千圓ト押ヘマス、假ニ「ドイツ」デハ一箇月六千「マルク」ト押ヘマス、サウスルト、勞働者一人當リノ一年ノ生産高ガマアドノ邊マデ實際行ツテ居ルカ分リマセヌガ、日本ノ二十四人ニ「ドイツ」ノ一人ト、斯ウ云フコトニナル譯デス、所ガソレハ何モ日本ノ勞働者ガ惡イノデヤナクテ、詰リ簡單ニ申セバ、工場全體ガ一ツノ生産組織トシテ流レ作業ニナツテ居ラナイノデ、詰リ十六ノ娘ガ掛ラウガ、六十ノ爺サンガ掛ラウガ、同じ精度ノモノガドン／＼出テ來ルヤウナ「プロダクション・エンジン」ノ其ノ仕事ガ物ヲ造ツテ居ルカ居ラヌカト云フ所デ、此ノ開キガ來ル譯デス、例ヘバ一万二千八人使ツテ居リマス川崎ノ電機ト云フヤウナ生産ガ、假ニ餘所ノ國ノ三百二十人シカ持ツテ居ナイ所ノ生産ト同ジダトスルト、ソコデ四十對一ト云フコトガ出テ來ル、是ガ非常ニ先程カラ問題ニナツテ居リマス生産ノ高度化、質的ナ問題ニ關係ガ出テ來ル、此ノ流レ作業ト云フモノハ申スマデモナイコトデアリマスガ、從來ノヤウナ「ブック・キーピング」デハ迎モヤツテ行ケナイ、隨ヒマシテ、田村サンノ一昨日ノ質問ヲモツト掘下ゲテ見レバドウ云フコトニナルカト云フト、銀行業務ヲ爲ス者ハ、工業金融ニ出ル以上ハヤハリ一ツノ「プロ

ダクシヨシ・エンジニア「デナケレバナラス、詰リ「デザイン」ヲスル「エンジニア」デアル必要ハアリマセケレドモ、サウ云フ用意ガナケレバ工業資本自體ノ本當ノ成長ガアリ得ナイ、隨テ如何ニ商業的ノ方法ヲ通ジテノ金融ヲナサイマシテモ、自體トシテノ力ハ強クナツテ來ルモノデヤナイ、隨テ戰時金融金庫ダトカ、或ハ設備營團ニ相當連絡ヲナサルト云フ御答辯ハ得マシタガ、尙ホ銀行員ノ全體ノ産業ニ對スル教養貸出ノ目安ト云フモノニ對シマシテ、單ナル法律の統制バカリデナクテ、寧ロ或ル意味ノ御養成ト云フ風ナコトガ非常ニ緊切ナ問題ニナルノデハナイカ、サウ云フコトデナイト是ガ空廻リヲスル心配ガアルト云フ點ニ付キマシテ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○山際政府委員 只今ノ御尋ネハ今後金融機關ハ事業金融ノ衡ニ當ル以上ハ、何ト申シマスカ、能ク事業自體ノ事ニ理解ヲ持ツテ、工業經營の立場ニ於テ工業ノ生産性ヲ向上スルコトニ努力シナケレバ、眞ニ其ノ職責ヲ全ウシ得ナイデハナイカト云フ趣旨ノ御尋ネデアツタヤウニ諒承致シマシタ、此ノ點ハ洵ニ其ノ通りト考ヘルノデアリマシテ、從來トテモ勿論金融機關ハ其ノ努力ヲ拂ツテ參ツト思フノデアリマスガ、今後金融統制團體等ニ於キマシテ、能クソレ等ノ時局ノ要求ニ合ヒマスヤウナ銀行ノ機能ヲ發揮ヲ促進スルツ云フ施策ヲ十分ニ進メテ參リマスヤウ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○龜井委員 御方針ヲ承リマシテ非常ニ結構ダト思フノデアリマス、銀行ノ方ノ御用意ハ是デ出來テ、是デ管理通貨ニ依ル所

ノ信用ノ造出ト云フカ、生産擴充、國防國家建設、大東亞共榮圈ノ建設ト云フモノニ極メテ力強ク働キ得ルト云フ見透シヲ得タノデアリマスガ、一方ニ於キマシテ、今度ハ金融サレレ側、詰リ具體的ニ言ヘバ工場デアリマス、段階ヲ經テ結局工場ニ行クノデアリマスガ、ソレガ今ノ法律の形態デハ御承知ノヤウニ會社ニナル譯デアリマス、ソコデ一方ニ於キマシテ管理通貨、ソレカラ銀行ニ依ル金融ノ造出、工業金融、サウ云フ問題ト並行致シマシテ、大概ノ國デハ「大概ノ國デモアリマセス」、「ドイツ」ヤ「イタリ」アタリデハ、會社法ノ改正ト云フコトガ問題ニナツテ來テ居リマス、詰リ簡單ニ申シマスレバ、株式ノコトデアリマスガ、企業參加證券ト云フモノノ性格ヲ變ヘテ行ク、或ハ重役ト云フモノハ現業重役デ、其ノ代リ地位ハ何年間安定スルカ、或ハ監査役ト云フモノガ、寧ロ或ル意味ノ統制團體トカ、或ハ各種ノ融資團トカ、サウ云フモノカラ出テ來ル非常ナ公の性格ヲ持ツテ來ル、是等ヲ特ニ申上ゲマスノハ、總動員法デアルトカ、或ハ其ノ他ノ色々ナ統制ノ法律ニ依リマシテ、上カラハグツト縛ツテ行クノデゴザイマスルガ、是デハ會社ノ自律的、自主的ナ運動ト云フモノガ本當ニ國家ノ國策ノ軌道ニ向ツテ飛躍シテ飛出スト云フ格好ニハナラスト思フ、私ハ茲ニ「ドイツ」ノ會社法ノ特質ニ付テハ、「ドイツ」ト日本トハ産業ノ狀態ガ違ヒマスカラ中上ゲマセケレドモ、大體斯ウ云フ管理通貨及ビ工業金融、ソレニ即應セル極メテ能率の經營ト云フコトヲ目標トスル所ノ會社法ト云フモノガ非常ニ影響ガ多イト思ヒマスガ、是ガ將來如何ニアルベキカト

云フ風ナコトヲ寧ロ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

○田中(豐)政府委員 只今ノハ大變難カシイ御質問デアルト思ヒマスガ、日本銀行制度ヲ改正シ、又茲ニ戰時金融金庫ト云フ風ナモノヲ設ケテ、産業金融ニ對シテ色々ト資金ノ供給ヲ圓滑ニスル、サウ云フコトト伴ツテ會社自體ノ性格モ、例ヘバ株主ガ議決權ヲ持タナイトカ云ツタヤウナコトヲ「ドイツ」デヤツテ居ルヤウナコトニ付テノ所見ハ如何ト云フ御質問ダト了承スルノデアリマスガ、全般ノ金融機關タル銀行其ノ他ノ會社組織ノ現在ノモノヲドウ變ヘテ行クカト云フ問題ハ、大變難カシイ問題デアツテ、只今私ハ其ノ點ニ付テ考ヘヲ申述ベルコトハ出來ナイノデアリマスガ、唯金ヲ貸ス方ノ側ノ戰時金融金庫、或ハ今回改正後ノ日本銀行等ニ於キマシテハ、從來ノ株式組織ニ依ル會社ニアラザル特殊ナ性格ヲ持ツタ法人ト致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、借リル方ノ側ノ組織ノ問題、是ハ大變大キナ問題デ、一寸私カラ御答ヘスルコトハ困難デゴザイマス、御諒承願ヒマス

○龜井委員 ソレデ大體了承致シマシタガ、尙ホ殘ツタ點ヲ一、二點伺ツテ置キタイト存ジマス、未動遊休設備ノ問題、中小工業等ニ於ケル職業轉換等ノ問題ガ起ルノデアリマスガ、一寸私ノ申上ゲテ居ルコトガ誤解ヲシテ戴イテハイケナイト思ヒマスノデ補足致シマスガ、何モ金ヲ貸シテ職業轉換ヲヤラセルコトガ惡イト云フノデハナイ、吾々ハ初メカラソレニ賛成シテ居ルノデアリマスガ、ソレヲヤルノニハ餘程生産ノ高度性ヲ先ニ見透シテヤツテ置カナイトイケナイノデハナイカ、其ノ爲ニ寧ロ銀行ノ方

ニ指導的ナ見解ガナケレバナラスノデハナイカ、隨テ人ト云フ問題ガ含マレテ居ルノデアリマス、所ガ既ニ先程サウ云フ方面ノ配慮ヲスルト云フ御答辯デアリマシタカラ、サウ云フ意味ニ御諒承願ツテ御配慮ヲ願ヘルコトト考ヘルノデアリマス、ソコデ管理通貨ノ問題ハ非常ニ大キナ問題デ、要スルニ貸ス方、借リル方、其ノ次ニハ行政機構ノ問題ニモナツテ、御答ヘニモ中々困難デアラウト存ジマス、今ハ大東亞戰爭ニ勝タナケレバナラスト云フコトデ、其處一本ニ力ヲ集メテ來テ居ルノデスカラ、徒ラニ閑日月デ行政機構ヲイデル必要モナカラウト思ヒマスガ、問題ハ此ノ間モ同僚ノ一人カラ質問サレマシタヤウニ、今マデハ大藏省ハ通貨、殊ニ金ト結び付イタル通貨ヲ通ジテノ日本經濟ノ一ツノ綜合官廳デアツタ譯デアリマス、所ガ管理通貨ト云フコトニナリマス、問題ハ寧ロ生産ソレ自體、「コス」トソレ自體、産業主體ノ運營ソレ自體デ、産業ガドレダケ高度ニ舉ルカ學ラヌカト云フコトガ、寧ロ非常ニ「インフレ」ニナルカナラヌカト云フコトニモナツテ來ル譯デアリマス、サウスルト問題ハ、大藏省ハ通貨ヲ握リナガラ、通貨ノ價值ヲ動かサズ、實體ハ寧ロ他ノ面ニ行ク、ソレハ何モ大藏省ニ取戻サレルガ宜イト云フヤウナ「セクシヨナリズム」ヲ言フノデハアリマセス、サウスルトドウシテモ商工省、大藏省ト云フモノハ單ニ機械的ニ連絡ヲサレルト云フコトデハイケナイノデハナイカ、殊ニソレニハ重大ナ問題ガ含マレテ來ルノデアリマスガ、特ニサウ云フ面ガ必要デアラナラバ、大藏省ノ方ニモサウ云フ方面ヲズツト増サレテ、サウシテ自然商工省ノ方トダブツテ行

カレルヤウニ何トカ御考慮サレナケレバナ
ラスト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ
ノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ

○谷口政府委員 管理通貨制度ノ下ニ於テ

ト申シマスガ、統制サレタル金融ノ下ニ於
キマシテ、大藏省所管ノ事務ヲ執ツテ行キ
マス上ニ於キマシテ、其ノ考ヘ方等ニ付テ
ハ從來ト餘程異ル部面ヲ生ジテ來ルト思フ
ノデアリマス、御話ノ通り、商工行政等トハ
段々密接ナル關係ガ出來テ來居ルノデア
リマシテ、今後ニ於キマシテハ、從來ヨリモ
一層連絡ヲ緊密ニ致シマシテ、サウシテ個
個ノ産業——商工省デ今ヤツテ居ル産業ノ
整備デアルトカ、或ハ生産力擴充ノ施設等
ニ付キマシテモ、一々ノ具體的ノ場合ニモ
即シテ十分能ク連絡ヲシテ行カナケレバナ
ラスト思フノデアリマス、是ガ爲ニ必要ナ
ル行政機構ノ改革等ニ付キマシテハ、御話
ノ中ニモアリマシタ通り戰時下デアリマシ
テ、ソレガ爲ニ却テ行政ノ能力ノ全體ヲ殺
グヤウナコトハ此ノ際避ケナケレバナラヌ
ト思フノデアリマスケレドモ、サウ云フ弊
害ノ生ゼザル場面ニ於キマシテハ、連絡上
適切ナル改正等ハ行ツテ行キタイト考ヘテ
居ル次第デアリマス

○龜井委員 アト大藏大臣ニ對シテ尙ホ御

ニハ何モ個人ノ通貨所得ノ形態デ増スト
カ、サウ云フ昔ノヤウナコトヲ言フノデハ
アリマセヌ、一ツノ工業資本ノ資本利潤即
チ収益性ト云フ部面ヲ非常ニ増スヤウニ考
ヘテ行カナケレバナラヌ、ソレハドウシテ
モヤハリ産業ノ科學的ナ管理ト云フコトマ
デ入ラナケレバナラヌノダ、フロー・プロ
ダクシヨント云フモノマデ行カナケレバイ
カヌノダ、其處マデ行カナイト、管理通貨
ト云フモノハ巧行カナイ、「ドイツ」ノ管
理通貨ガ巧ク動イテ居ル譯ハ、「ルーマニ
ヤ」ニ高度ノ機械ヲ持ツテ行ケル、爲替ガ
強イト云フノハ、金デハナイケレドモ、非常
ニ高度ノ生産品ヲ持ツテ行ケルト云フ點ニ
付テ申シタノデアリマス、單ニ個々ノ科學
技術品デアルトカ云フモノデナクシテ、ソ
レヲ現場ニ於テ科學的生產管理ト結バレタ
金融ヲヤツテ戴クコトガ必要ガアルト云フ
コトヲ力説シタ譯デゴザイマスガ、ソレヲ
力説スルト云フ意味ノモウ一面ノ意味ハ、
私ハ大東亞共榮圈ト云フモノニ對シテ餘
程——是ハ栗山君ガ御要求ニナリマシタヤウ
ニ、大藏省モ從來カラ御研究中デハゴザイ
マシタラウガ、大規模ナ、廣大ナ構想ヲ持
ツテ御進ミニ相成ラナケレバナラヌト信ズ
ル者ノ一人デアリマス、此ノ廣大ノ中ニモ
非常ニ深ミガナイト危ブナイト云フノデゴ
ザイマス、他ノ言葉デ言フナラバ、例ヘバ
蘭印ノ「ゴム」ノ生産ニ致シマシテモ、「ゴム」
ノ生産ト云フノハ木カラ油ヲ採ル、植物ノ改
良過程ニ致シマシテモ、或ハ出來タ「ゴム」
ノ處理ノ過程ニ致シマシテモ、石油ノ精製
工程ニ致シマシテモ、相當高イ技術段階ニ
アル、ソレヲ唯行キサヘスレバ、唯金カ物
ヲ持ツテ行ケバ取ツテ來ラレルト、斯ウ云

第六類第四號 日本銀行法案外二件委員會議錄 第五回 昭和十七年一月二十八日

フノデハナクシテ、餘程是ハ日本内地ニ高
マリタル高度ノ、工業金融ヲ通ジテ、研究
室カラデハナイ、「ラボラトリ」デハナク
シテ、本當ノ工場全體ノ中ニ、マダ手工業
的ナ工場ガ多イノデゴザイマスカラ、其ノ
全體ノ流れ作業ト云フモノヲ、金融ト一緒
ニシテグツト御持上ゲニナツテ、技術ノ一
段高イモノヲ持込ムト云フコトガ非常ニ必
要ナコトデ、若シ之ヲ日本ガヤラナケレバ
「ドイツ」ガヤラデアリマセウ、若シサウ云
フコトニナレバ吾々ハ大東亞共榮圈ト云
フモノノ武力戰ノ意味ト云フモノガ、本當
ニ大東亞ニ於ケル日本ノ經濟的指導ト云フ
コトニ少シデモ缺ケルヤウナ狀態ガ出來
レバ、吾々ハ今日ノ第一線ノ將兵ニ相濟マ
スト考ヘマスルノデ、特ニ其ノ金融ニ關シ
マシテハ生産ノ、個々ノ生産デナクシテ、
工場ノ全體ノ流れ作業ノ水準ノ高メルト云
フコトニ金融ノ實體ガクツ付イデ、ソレガ
管理通貨ノ基礎的ナ條件デアル、斯ウ思ヒ
マスノデ、其ノ點ヲ最後ニモウ一度御意見
ヲ伺ヒマシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○谷口政府委員 先程以來此ノ管理通貨制

ノ下ニ於ケル經濟政策ノ諸部面ニ互リマシ
テ、極メテ廣汎ナル範圍内ニ於キマシテ御
意見ヲ伺フコトガ出來タノデアリマスガ、
只今最後ニ御話ニナリマシタヤウニ、今後
我が國ノ使命トシテ課セラレテ居ル南方開
發ノ所期ノ目的ヲ達成致シマスル爲ニハ、
極メテ重大ナル決意、而モ其ノ決意タルヤ
科學的技術ノ向上ト云フヤウナ着實ナル方
面ニ於テ、極メテ重大ナル決意ヲ要スルト
云フコトハ甚ダ同感ニ思フノデアリマス、
若シサウ云フコトヲ怠リマシテ、足ガ地ニ
着カナイヤウナ恰好デ進ミマシタナラバ、

只今學デテ居リマスルヤウナ赫々タル戰果
ニ對シテ洵ニ申譯ナイコトニ相成ルト思フ
ノデアリマス、今後金融ノ方面ニ於キマシ
テモ産業諸政策ノ高度化、更ニ其ノ技術ノ
精密化等ノ方面ニハ十分ナル理解ヲ持ツコ
トヲ心掛ケマシテ、我が管理通貨ノ下ニ於
キマシテ經濟諸政策ノ向上、又我が國ノ目
的トシテ居リマス所ノ大事業ノ達成ト云フ
コトニ十分努力ヲ致シタイ、左様ニ考ヘル
次第デアリマス

○板谷委員長 小山倉之助君

○小山(倉)委員 私ハ他ノ委員會ニ出テ居

リマシタノデ、今マデ私ノ是カラ質問シヨ
ウト云フ點ニ付キマシテハ相當御質問ガア
ツタラウト存ジマス、デアリマスカラ重複
致シマシタ點ハ極ク簡單ニ御答ヘヲ願ヒマ
ス

〔委員長退席、横川委員長代理着席〕

ソコデ只今大分深遠ナル御質問ヲ拜聴シ
テ居リマシタガ、私ハ極ク手取早イ實質的
ナ、現實的ナ問題ニ付テ簡單ニ御質問申上ゲ
タイト思ヒマス、管理通貨トナリ生産力擴
充ヲ最モ緊要トスル此ノ時代ニ於キマシテ、
日本銀行制度ノ改革ハ已ムヲ得ナイコトデ
アラウト存ジマス、併シナガラ管理通貨制
度ヲ堅持スルノ已ムナキニ至ツタサウ云フ
時代ニ於キマシテハ、ソレ相當ノ準備ヲシナ
ケレバナラヌト思ヒマスガ、私ハ斯様ナコ
トハ別ト致シマシテ、茲ニ率直ニ御尋ネ申
上ゲタイノハ、生産力擴充ト云フ方面ニ重
點ヲ置クニ至リマス、國家ハ損害ノ補償
ヲシテ行カナケレバナラヌ、人間ノ心ヲ今
直チニ直ス譯ニハ參ラスノデアリマスシ、
今マデノ總テノヤリ方ヲ今急速ニ大根ヲ切
ツタヤウナ工合ニ直ス譯ニハ參ラナイノデ

五

アリマスカラ、サウ云フ建前デ参リマスル
ト結局非常ナ不良貸ガ起ツテ來ル、其ノ不
良貸ノ全部ヲ日本銀行ガ背負フヤウナ形ニ
ナリハシナイカ、サウ云フ覺悟ヲ十分シテ
イラツシヤルカドウカ、此ノ點ヲ極ク簡單
ニ御説明ヲ願ヒマス

○田中(豐)政府委員 只今ノ御質問ハ生産
力擴充ノ爲ニ金ヲ貸シテ不良貸ガ起ツテ、
其ノ尻ヲ日本銀行ガ背負フ覺悟ヲ持つテ居
ルカ、其ノ點ニ對スル處置如何ト云フヤウ
ナ御趣旨ダト拜承致シマシタガ、戰時金融
金庫ガ主トシテサウ云ツタヤウナ危險ナ金
融部面ヲ受持ツテ、今後戰時金融金庫カラ、
國家緊要産業デアツテ而モ普通ニハ資金ノ
調達ガ難カシト云フヤウナ資金ノ種類
ヲ、戰時金融金庫カラ供給スルコトニ相成
ル譯デアリマス、戰時金融金庫ニ關シマス
ル限りハ、其處カラ生ジマシタ損失ハ全部
國家ガ戰時金融金庫ニ直接補填スルコトニ
ナツテ居リマシテ、日本銀行ノ方ニハ御尋
ネノヤウナ趣旨デ累ヲ及ボサナイト申シマ
スカ、國家ガ戰時金融金庫ニ對シテ直接其
ノ損害ヲ補填スル、斯ウ云フ組織ニナツテ
居ルノデアリマス

○小山(倉)委員 日本銀行ガ事業會社ニ金
融スルト云フ結果、日本銀行ノ損害ト云フモ
ノハ相當アリマス、日本銀行ノ生ジタ損害
ハ又政府ガ負フノデハナイノデスカ

○山際政府委員 日本銀行ガ本法案ノ成立
致シマシタ場合ニ於テ行ヒマスル所謂事業
金融ト云フコトニ付キマシテハ、實ハ先
般來申上ゲタノデゴザイマスルガ、直接事
業會社ニ對シテ取引ヲ致シマスルコトハ考
ヘテ居リマセヌノデゴザイマシテ、事業金
融ヲ營ミマス金融機關ニ對シマシテ、其ノ

供給資金ノ圓滑ヲ期スル上ニ於テ日本銀行
ガ乘リ出ス、斯様ナ意味合ニ考ヘテ居リ
マス、直接ノ相手方ガ事業會社自體デハナ
イ、事業會社自體ノ損失ガ直チニ日本銀行
ニ及ブト云フ關係ニハ相成ツテ居リマセヌ
ノデゴザイマス

○小山(倉)委員 私ハ其ノコトハ能ク承知
シテ居リマス、ソレデハ別ノ問題ニ移リマ
スガ、私ハ滿洲ト日本ノ關係ダケデモ注意
シナケレバナラヌ點デアルト思ヒマスガ、
將來東亞共榮圈內ニ段々進展シテ参リマス
ルト、兎角日本ニ發達サセナケレバナラヌ
重工業ナリ、或ハ軍需工業ナリ或ハ滿洲
ニ持ツテ行ク、或ハ東亞共榮圈內ニ持ツテ
行クト云フコトカラ、結局大キナ失敗ヲ招
クコトナシト致シマセヌ、例ヘバ滿洲ニ進
出シタ軍需工業、精密工業ノ如キモ、内地
デ發達シタカラト云ツテ、直チニ滿洲デ發
達スベキモノト、誤解ヲシタカ、或ハ或ル
作爲ヲ以テヤツタノカ、或ハ自分ノ會社ヲ
救済スルト云フヤウナ意味カラヤツタノ
カ、ソレハ私ハ存ジマセヌガ、精密工業ノ
發達ニハ「スキルド・レーバ」ハ勿論デアリ
マスシ、設備ガ要ル、之ニ又關聯シテ輸送
關係ガ要ル、其ノ間ノ下請工業ト云フモノ
モ要ル、斯ウ云フ「ユニット」ガ存在シテ初メ
テ精密工業ノ發達ガ出來ルノデアリ、又精
密工業ガ生産的ニ損ヲシナイヤウニ、所謂
經理的ニ成立ツノデアル、ソレヲ突如トシ
テ設備モナイヤウナ野原ニスキルド・レー
バー「フコチラカラ連レテ行クト云フヤウ
ナコトヤ、或ハ其ノ他ノ設備連絡ガアルト
云フヤウナコトヤ、連絡關係モ簡單ニ付ク
ト云フコトカラ、之ヲ外地ニ持出スヤウナ
コトニナリマス——國家的目的カラ言ヘ

バ、ソレハ是非ヤラナケレバナラス、併シ
ナガラソレカラ生ズル損害、サウ云フコト
ハ大體ニ於テ政府ガサウ云フ指導方針ヲ決
メテ行カナケレバナラスノデアリマス、然
ルニ縮尻ツタトハ其ノ尻拭ヒマスル、縮
尻ツタトハ國家ガ其ノ損害ヲ填補スル、
ソレハ必要ナル事業ナルガ故ニ融資ヲス
ル、斯ウ云フコトハ私ハ將來モアリ得ルコ
トデアリ、過去ニアツタコトデアリマスカ
ラ、大藏省ニ於テ大體サウ云フ方針ヲ立テ
ナケレバ、茲ニ良、不良、不適ト云フコト
ヲ考ヘズニ、唯國策的ノ事業ダ、軍需工業ダ、
重工業ダ、斯ウ云フ意味合カラ金融ヲ致シ
マスルト、戰時金融金庫ノ三億圓、之ニ十倍
スル所ノ債券ヲ發行シタカラト云ツテ、唯
一部ノ會社ヲ救済スルニ終ツテ、國全般ノ重工
業、軍需工業ノ發達ニハ何等役ニ立タナイ
結果ニナルノデアリマスカラ、先ヅ斯ウ云
フ根本政策ヲ決メル、日本内地ニ於テハ軍
需工業、重工業ノ發達ヲ圖ル、其ノ他ノ國
ハ大體ニ於テ原料國トスル、或ハ或ル程度
ノ輕工業程度ノモノハ許シテヤル、斯ウ云
フ根本方針デ、大藏省ハ國策ガ決マル場合ニ
ハ強硬ナル意見ヲ以テ何處マデモ之ヲ突張
ル御覺悟ガナケレバ、此ノ戰時金融金庫ノ
如キハ何等役立タナイモノニナツテシマ
フ、唯一、二ノ失敗會社ヲ救済スル案ニ過ギ
ナイ結果ニナルノデアリマスカラ、斯ウ云
フ點ニ付テ大藏當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノ
デアリマス

○谷口政府委員 内外地等ヲ通ジタ今ノ小
山サンノ御話ノ問題デアリマスガ、是ハ私
共モ平素カラ深く痛感シテ居ル所デアリマシ
テ、殊ニ今御舉ゲニナリマシタ最後ノ點ニ

付キマシテハ、滿洲十年ニシテ未ダヤハリ
御話ニナリマシタヤウナ點ノ缺陷ヲ感ゼザ
ルヲ得ナイト云フヤウナ點ニ付テハ、深ク
遺憾ニ思フノデアリマス、戰時金融ノ機關
ヲ設ケマシテ、生産力擴充方面ニ大イニ金
融ノ途ヲ付ケルベシト云フ御話ガアリマス
ルガ、軍需工業デアルトカ、生産力擴充計
畫産業デアルトカ云フコトデアルガ爲ニ、
ヤタラニ投資シ融資スルト云フコトハ如何
ナモノデアラウカト云フコトハ、私共モ左様
ニ考ヘルノデアリマス、此ノ方面ニ資金ノ
融通ヲ付ケルト云フコトガ非常ニ必要デア
ルト同時ニ、是ハ又所期ノ效果ヲ擧ゲ得ル
ガ如キ地理的、其ノ他諸般ノ條件ヲ備ヘタ
ルモノヲ的確ニ見定メタル上デナケレバナ
ラスト云フコトハ、私共モ深く感ズルノデ
アリマス、若シサウ云フコトデアリナラバ、
二、三ノ困テツ居ル會社ヲ救済スルニ止マル
程度デアルノミナラズ、或ハ又將來救済ヲ
要スルヤウナ會社ヲ増設スルト云フヤウナ
結果ニモ相成ルカトモ思フノデアリマス、
斯ウ云フ戰時金融金庫ノ如キ特別ノ機關ヲ
設ケマスルニ付キマシテハ、確乎タル綜合
的ナル産業計畫ノ確立サレルト云フコトヲ
要望スル氣持ガ非常ニ切ニ致スノデアリマ
ス、御話ノ如ク斯ウ云フ戰時金融機關ガ投
資融資ヲ致スニ付キマシテモ、其ノ投資融
資先ニ付キマシテハ、ヤハリ慎重ナル鑑定、
慎重ナル監査、サウ云フモノヲ經テヤラナ
ケレバイカスト云フコトハ全ク御話ニ同感
デアリマス

○小山(倉)委員 御答辯デ大體拜承致シマ
シタ、第二ニ御尋ネ致シタイノハ、私ハ此
ノ戰時金融金庫ト云フノハ、詰リ軍需工業
ノ援助デアル、戰爭ニ必要ナル武器、資材、

付キマシテハ、滿洲十年ニシテ未ダヤハリ
御話ニナリマシタヤウナ點ノ缺陷ヲ感ゼザ
ルヲ得ナイト云フヤウナ點ニ付テハ、深ク
遺憾ニ思フノデアリマス、戰時金融ノ機關
ヲ設ケマシテ、生産力擴充方面ニ大イニ金
融ノ途ヲ付ケルベシト云フ御話ガアリマス
ルガ、軍需工業デアルトカ、生産力擴充計
畫産業デアルトカ云フコトデアルガ爲ニ、
ヤタラニ投資シ融資スルト云フコトハ如何
ナモノデアラウカト云フコトハ、私共モ左様
ニ考ヘルノデアリマス、此ノ方面ニ資金ノ
融通ヲ付ケルト云フコトガ非常ニ必要デア
ルト同時ニ、是ハ又所期ノ效果ヲ擧ゲ得ル
ガ如キ地理的、其ノ他諸般ノ條件ヲ備ヘタ
ルモノヲ的確ニ見定メタル上デナケレバナ
ラスト云フコトハ、私共モ深く感ズルノデ
アリマス、若シサウ云フコトデアリナラバ、
二、三ノ困テツ居ル會社ヲ救済スルニ止マル
程度デアルノミナラズ、或ハ又將來救済ヲ
要スルヤウナ會社ヲ増設スルト云フヤウナ
結果ニモ相成ルカトモ思フノデアリマス、
斯ウ云フ戰時金融金庫ノ如キ特別ノ機關ヲ
設ケマスルニ付キマシテハ、確乎タル綜合
的ナル産業計畫ノ確立サレルト云フコトヲ
要望スル氣持ガ非常ニ切ニ致スノデアリマ
ス、御話ノ如ク斯ウ云フ戰時金融機關ガ投
資融資ヲ致スニ付キマシテモ、其ノ投資融
資先ニ付キマシテハ、ヤハリ慎重ナル鑑定、
慎重ナル監査、サウ云フモノヲ經テヤラナ
ケレバイカスト云フコトハ全ク御話ニ同感
デアリマス

其ノ方面ノ發達進步ト云フヤウナコトヲ目
標トシテ居ルガ如クニモ思ハレルノデアリ
マスガ、斯ウ云フ方面、即チ戰爭資材ヲ供
給スル、武器ヲ急速ニ供給セシムルト云フ
ヤウナ點ニ付キマシテハ、今度議會ニ提案
サレマシタ案ノ中デハ、兵器等製造事業特
別助成法、是ハ私ハ中々良ク出來テ居ルト
思フノデアリマシテ、ナゼ今頃ニナツテコ
シナ法律ヲ出シタノデアラウカ、是ハモツ
ト二、三年前ニ斯ウ云フ法律ガ出テモ宜イノ
デヤナイカ、斯ウ云フ感シテ私ハ持つて居
ル者デアリマスガ、此ノ特別助成法ノ詰リ
助成金ハ、是ハ臨時軍事費カラ出サレルノ
デアリマスガ、ソレトモ又其ノ方面ニモ戰
時金融庫ガ融資スルノデアルカ、此ノ點
ヲ一寸御伺ヒ致シタイ

○谷口政府委員 兵器等製造事業特別助成
法ニ付キマシテ此ノ補助金ノ要リマスル場
合ニハ、只今ノ所デハ臨時軍事費カラ出ス
コトニ相成ルダラウト思フノデアリマス
○小山(倉)委員 サウ致シマスルト、兵器
等製造事業ニ關スルコトハ實ハ私ハ非常ニ
必要ナ事業ト思フノデアリマス、此ノ法律
ノ内容ヲ見マスルト、今日軍需工業、重工
業ト呼バレテ居ル方面ニハ全部融資ガ出來
ル、其ノ開發進步ヲ圖リ得ルノデアリマス、

其ノ方面ハ臨時軍事費カラ融通サレルコト
ニナリマスルト、戰時金融庫ト云フノハ
一體ドノ方面ニ働キ得ルノデアルカ、勿論
其ノ方面ガ相當アルコトハ想像セラレマス、
併シナガラ此ノ兵器等製造事業ノ方ハ、武
器トシテ、又直チニ必要ナ方面ニ其ノ精巧
ナル武器ヲ造ルコトヤ、或ハ其ノ量ヲ多ク
スルコトヤ、サウ云フコトニ對シテハ最善
ノ注意ヲ拂ツテ居ル、一體是レ以外ニ戰時

中必要ナル工業ヲ發達サセル必要ガアラウ
カドウカト思ハレル程ナノデアル、斯ウナ
ツテ來ルト、此ノ戰時金融庫ノ目標トシ
テ居ル所ノ工場、或ハ個人デモ宜イガ、サ
ウ云フ方面ニ融通スルト致シマスルト、或
ル事業ノ如キハ、軍需品モ製造シテ居レバ、
其ノ他ノ會社ニモ關係シテ居ル、サウ致シ
マス、戰時中絕對必要ナル物資以外ノモノ
ニモ救済ノ手ヲ伸バレルト云フコトニナル、
サウ云フコトモ私ハ多少ノ疑問ヲ持つて居
ルノデアリマスルガ、或ル會社ヲ援助スル、
或ル會社ニ融資スル、戰時絕對必要ニ必要ナ
武器、其ノ他ノ資材ヲ造ラナイ方面ニモ是
ハ融資セラレルヤウニモ考ヘ得ルノデアリ
マスガ、此ノ點ハ如何デゴザイマセウカ

○田中(豐)政府委員 軍需品ヲ造リマス會
社ニ對シマシテ兵器等製造事業助成法デ色
色ナ助成ノアルコトハ御話ノ通りデアリマ
スガ、本金融庫モ亦金ヲ貸ス場合ガアリ得ル
ト考ヘテ居リマス、ソレカラ本金融庫ハサウ
云フ軍需製造會社ニ資金ノ融通ヲ致スノミ
ナラズ、軍需産業ノ本デアル各種ノ生産擴
充ヲ必要トスル産業ニ資金ノ融通ヲ致スノ
デアリマシテ、極ク限ラレタ部分ガ兵器等
助成法ニ依ツテ國庫ノ負擔トナツテ、必要
ナ設備ガ建設サレルト云フヤウナ場合ガア
ルト思ヒマスガ、其ノ他ニ於キマシテハ此
ノ戰時金融庫カラ資金ノ融通ヲシテ、其
ノ場合ニ於キマシテモ、軍需工業家自體
ガ——其ノ工業自體ガ他ノ金融機關カラモ金

ヲ借り得ラレルト云フヤウナモノデアリマ
スレバ格別デアリマスガ、一般金融機關カ
ラ資金ノ調達ヲ受クルコトガ困難デアルト
云フ場合ニハ、此ノ金融庫カラ資金ノ融通ヲ
スルコトガアルト考ヘテ居リマス

○小山(倉)委員 大體了承致シマシタ、ソ
コデ今マデ強制融資ヲ命ゼラレタ銀行、殊
ニ興業銀行モアリマス、其ノ他ノ銀行モア
ルカモ分リマセスガ、サウ云フ融資サレタ
モノヲ、此ノ戰時金融庫ガ抱込ムト云フ
ヤウナコトハ御考ヘニナツテ居リマセスカ
○田中(豐)政府委員 只今マデニ強制融資
命令ニ依ツテ貸付ケマシタモノヲ金融庫ガ肩
替リスルト云フコトハ考ヘテ居リマセス、
金融庫設立後ト雖モ強制融資命令制度ハ存續
致シマス、必要ガアレバ尙ホ強制融資命令
モ新シク出ルコトニナツテ居リマス、隨テ
從來強制融資命令ニ依ツテ貸出シマシタモ
ノヲ、本金融庫ニ肩替リスルト云フヤウナコ
トハ考ヘテ居ナイ譯デアリマス

○小山(倉)委員 ソコデ私ハ産業設備營團
ト此ノ戰時金融庫ノ關係ヲ御尋ネシタイ
ノデアリマスガ、先程ノ次官ノ御説明ニ依
リマスルト、産業設備營團ノ遊休設備ニ金
融シテ之ヲ活用スルト云フヤウナ御答辯ガ
アツクヤウニ記憶致シマスガ、若シ私ノ記
憶ニ間違ビガナケレバ、其ノ方面ニ金融致
シマスコトハ勿論必要デアルト存ジマス、
ソコデ私ノ考ヘマスルコトハ、戰時金融ノ
必要ナル方面ハ、戰爭遂行ノ爲ニ必要ナ戰
爭資材ト云フモノダケデハ足リナイト私ハ
思フノデアリマス、即チ經濟力モ是ハ戰闘
力デアリマス、デアルカラ經濟方面ニモ戰
時或ハ食糧ノ配給デアリマスツカ、或ハ其
ノ他ノ物資ヲ維持スルト云フヤウナ點カラ
其ノ方面ニモ金融ヲスルコトガ必要デアアル
ト思フノデアリマス、特ニ私ハ南方ノ物資
ガ只今直グ來ナイト致シマシテモ、之ヲ相
當内地ヘ持つて來テ、之ニ加工シテ其ノ物
資ヲ以テ南方共榮國內ニ供給スルト同時ニ、

支那内地ニモ供給スルコトハ、戰爭ハ長期
ニ互ルト云フコトヲ覺悟スレバスル程、サ
ウ云フ政策モ採ラナケレバナラス、其ノ方
面ニ絕對的ニ相當ノ金融ヲ必要トスルヤウ
ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ點
ニ付テハ如何デゴザイマセウカ

○田中(豐)政府委員 御尤モデゴザイマス、
併シ差當リ本金融庫トシテ考ヘテ居リマスノ
ハ、國家緊要産業ニ對スル貸付、資金ノ供
給デアリマシテ——國家緊要産業トハ軍
需産業、生産力擴充産業、時局ニ必要ナ代
用品産業、不足品産業ト云ツクヤウナ産業
デアルト考ヘテ居リマスガ、御話ノ如ク南
方カラ物資ヲ持つて參リマシテ、ソレニ加
エラシテ更ニ共榮國內ノ各地域ニ出ス、斯
ウ云ツクコトガ非常ニ必要デアアル、其ノ方
面ニ本金融庫ハ金ヲ貸スカ、斯ウ云フ問題
ニ相成ツテ參ルノデアリマスガ、差當
リ南方カラ物資ヲ持つて來ルコトガ出來
ルト致シマスナラバ、之ヲ貯藏スル、重要
物資管理營團デゴザイマスガ、今議會ニ提
出サレテ居リマスアノ營團ニ於テ貯藏スル
ト云フ場合ガアリマスレバ、其ノ貯藏ノ爲
ニ要スル資金ハ此ノ金融庫カラ貸スコトガ出
來ル、更ニ其ノ貯藏サレタ物資ガ加工生産
サレテ又出テ行ク、斯ウ云フ段階ニナリマ
シタ際ニ、ソレガ其ノ時代ニ於ケル國家ニ
緊要ナル産業ト云フコトデ出來ルモノデア
リマスナラバ勿論本金融庫カラソレニ對シテ
モ資金ノ融通ガ出來ル、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○小山(倉)委員 ソコデ私ノ質問ガ又生レ
テ來ルノデアリマスガ、實ハ此ノ貯藏營團
ト云フヤウナモノハヤハリ今マデノ統制ノ
行過ギカラ來タ點モアルト云フ風ニ私ハ考

ヘテ居ルノデアリマシテ、若シ政府ガ此ノ前ニ計畫致シマシヤウナ、所謂「バー・プラン」ガ其ノ儘行ケバ、一方ニ於テ不要ノ物資ガ偏在スルコト云フヤウナコトハ起リ得ナイ、一ツノ製品ヲ造ルニモ、或ハ數種或ハ數十種ノ品物ガ要ツタ場合ニハ、同時ニ適當ナ場所ニ參リマセヌ、サウ云フコトカラシテ或ル物資ガ偏在スル、偏在シテ結局之ヲ使用スルコトハ出來ナイ、完製品ガ出來ナイ、半製品ガ多クナツテ來ル、サウ云フ品物ガ到ル處ニ偏在シテ居ルカラ、今度ハソレヲ攝集メテ再分配シヨウ、斯ウ云フソデアリマシテ、ドウモ政府ノ今マデ色々「バー・プラン」ヲ御立デニナリマシテモ、ソレガ必ズシモ實行サレナイ、今度ハ又ソレノヤリ直シヲシテ行カケレバナラス、今度ノコトヲヤツテモ、又ヤリ直シヲシテ行カケレバナラスト云フヤウナコトモ私ハ考ヘルノデアリマシテ、ソコデ此ノ産業設備營團デ遊休設備ヲ活用スルト云フコトデアリマス、一方ニ於テ政府ハ貯藏營團ヲ以テ物資ヲ押ヘテ居ル、物動計畫ヲヤリ直シテ再分配スルト云フ權利ヲ持つテ居ル、一方ニ於テハ遊休設備トシテ之ヲ押ヘテ居リマス、ソレニ政府ガ今度ハ金融シテ行カウト云フ、必要ナモノハ金融シテ行カウト云フノデアル、民間ニ於ケル設備ソレ自身ヲ一方ニ於テハ押ヘ、其ノ設備ヲ動カスベキ物資ハ政府ガ押ヘテ居ル、之ニ金融シヨウト云フノデアリマシテ、是ハ遊休設備、其ノ他金融スベキ對象トナルベキ事業、或ハ事業家ニ對シテ絶對的生殺與奪ノ權ヲ握ツテ居ルノデアリマス、此ノ場合ニ私ハ此ノ遊休設備ヲ活カスト云フコトデ或ハ小企業ヲ合同サセルナリ、或ハ大企業

ノ中デ目星シイモノニ、三ヲ合同サセルナリ致シマスルト、政府ガ殆ド國子ヲ作ルヤウナ工合ニ自由自在ナ形ニ致シ各各種ノ會社ガ出來マス、其ノ會社ハドウ云フ性質ヲ帶ビテ來ルカト云フト、皆國策會社ノ形ヲ取り得ル、政府ガ物資ヲ握ツテ、政府ガ其ノ設備ニ對シテ資金ヲ與ヘルノデアリマスカラ、斯ウ云フ人物ヲ使ヘトカ、或ハ斯ウ云フ組織ニセヨトカ云フヤウナコトデ、其ノ形モ内容モ殆ド全部政府ガやり得ルノデアリマス、國策會社ノ變態——或ハ國策會社ト銘打ツテ來ルカ、或ハ實質ニ於テ國策會社トナルカ、變態カ、實質カ、或ハ形式カ、名實共ニ伴フモノカト云フヤウナコトデ、殆ド國策會社ニナリ得ルノデアリマス、私ハ此ノ點ヲ非常ニ憂フル、今日ハ日本銀行ヲ初メ其ノ他ノ金融機關全部公務員トナリマシタ、民間ニ於ケル會社モ今度ハ政府ノオ聲ガ掛ツテ國策會社ニナレバ、ヤハリ形ハ民間デアツテモ、實質ハ公務員ニ依ツテナサレルコトニナル、政府ノ役人諸君ハ非常ニ修練ヲ經テ、非常ニ優レタ頭腦ヲ持ち、而モ優レタ人格ヲ以テ物事ヲ計畫スルカラマダ宜イ、又其ノ人格ト頭腦ヲ以テ民間ヲ抑ヘテ行ケカラ、民間ノ人ハ之ニ從ヒマス、併シナガラ民間ノ者ヲ公務員ト致シマシテモ、或ル程度ニ於テハ官吏ト同様に待遇ガ出來マセヌ、官吏ハ何處マデモ位ガ昇ツテ行キ、其ノ優レタ頭腦ヲ何處マデモ伸バシテ行クト云フヤウナコトデ、國民ガ之ヲ尊敬スル、官吏自身モ其ノ矜持ヲ持ツテ居ラレマス、併シナガラ民間ノ者ニナルト、或ル程度難役ガ多イ、其ノ難役ノ人間ハ公務員云フ名前ハ付セラレラガ、實際ニ於テハ非常ニ大キナ經濟的活動ヲ致シ

マス、收入ハ少イ、而モ仕事ハ大キイ、民間ニハ又之ヲ胡麻化シテドウカシヨウト云フ人間ガ澤山居ル、ソコニ何トシテモ防ギ得ナイ濟職ガ起リマス、一旦國家ガ育テタ會社ナリ、國策會社ニサウ云フ人間ガ段々瀾漫シテ參リマシナラバ、政府ハ國家ノ公益ヲ本旨トシテ、國家目的ニ副フヤウニ仕事ヲサセヨウト「バー・プラン」ヲ御作りニサツテモ、ソレガ皆下ノ方カラ崩レテ參リマス、吾々ハ官吏諸君ハ清廉デアアル、頭腦ガ良イ、而モ人ヲ指導スルダケノ計畫ヲ持ツテ居ラレマスカラ、私共ハ尊敬シ、且又其ノ指導ニ從フ、併シナガラ皆様方ノ下デサウ云フ會社ノ人ガ澤山出來タ場合ニ、一體國民ハソレニ尊敬ヲ拂フコトガ出來マセウカ、其ノ指導ヲ甘シテ受ケマセウカ、茲ニ私ハ非常ニ將來憂フベキ根源ガアルト思ヒマス、公務員トナサルコトハ宜シイ、私共ハ今日ハサウ云フ問題ニ付テハ政府ノ御方針ニ從ヒマス、併シナガラソコニサウ云フ弱點ガアリ、更ニ此ノ龐大ナル金融機關、遊休未動設備ト云フヤウナモノガアル際ニ、戰時金融ノ根幹ヲ握ツテ、茲ニ又國策會社ヲ濫設スルト云フコトニナリマシタナラ、是コソ取返シノ付カナイ事態ガ起リハセスカ、私ハ是レ以上申シマセヌ、唯公務員ト云フ名前ヲ付ケタカラ國家目的ノ爲ニ皆ヤルノダカラト云ツテ、サウ云フコトヲ御察ヒニナツテモ、組織ガ總テ非常ナ問題ヲ起ス場合ガ來ナイダラウカ、殊ニ大藏當局ハ此ノ點ニ於テ、金融カラ此ノ事業ノ根幹ヲ握ル實權ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマシタ、先程申上ゲマシタ所謂立地政策ノ如キモ、大藏省ノ方々ガ十分御主張ナサレバ通ル、今度ノ金融問題ニ付キマシ

テモ、或ハ設備營團ノ運用ナドニ付キマシテモ、大藏省ノ方々ガ其ノ根幹ヲ握ツテオイデニナルカラ、私ハ總テノ政策ニ付テ、願ハクハ官吏ノ立派ナ性格ト、品性ト、而シテ如何ナル誘惑ニモ打克ツ其ノ矜持ダケハ、一ツ國家ノ爲ニ保ツテ戴キタイ、私ハ近來滔々トシテ私ノ耳ニ入り來ルコトヲ深ク憂ヘマスノデ、此ノ案ヲ偶、御質問申上ゲル際ニ、私ノ衷情ノ一部ヲ申上ゲマシテ、是非大藏省ニ於キマシテハ、此ノ堅固ダケハ國家ノ爲ニ守ツテ戴キタイ、斯様ニ思フノデアリマス

○谷口政府委員 今回提案致シマシタ日本銀行法案及ビ戰時金融庫法案ニ於テ、其ノ役職員ヲ公務員トスルコト云フ規定ヲ置イテ居ルノデアリマシテ、此ノ公務員ノ身上地位ニ付キマシテ、只今小山サンカラ御懇篤ナル御意見ガアツタノデアリマス、是等ノ日本銀行、戰時金融庫ノ重大ナル使命ニ鑑ミマシテ、其ノ職員ヲ公務員トスルコトニ致シタノデアリマスガ、同時ニ只今御指摘ニナリマシタヤウナ色々心配スベキ點モアルノデアリマシテ、此ノ點ハ吾々關係ノ者トシテハ、將來只今ノ御意見ノアリマシタ所ニ鑑ミマシテ、十分戒慎ヲ致シタイト思フノデアリマス、更ニ吾々戰時下ニ於キマシテ、金融事務ニ關係シテ居ル者ニ對シテノ御意見ニ付キマシテハ、深ク感銘スル所デアリマシテ、御趣旨ノアル所ニ依リマシテ能ク注意ヲ致シマシテ、此ノ重大ナル責務ヲ果スコトニ邁進致シタイト存ズルノデアリマス、聊カ所見ヲ述ベテ御答ヘト致シマス

○田中(豐)政府委員 只今ノ御質問ニ依リマスレバ、例ヘバ政府ハ茲ニ未動遊休設備

ト云フ設備ヲ押ヘテ居リマス、或ハ又重要

物資管理ノ點カラ物資ヲ押ヘテ居ル、又斯
ウ云フモノニ對スル金融ヲスル機關ヲ押ヘ
テ居ル、是等ノモノガ一緒ニナツテ、一般
民間事業會社ガ國策的ノ特殊會社見タイニ
ナツテ、何デモ自由ニヤレルヤウナ權能ヲ
得テ國民經濟ニ弊害ヲ及ボス虞レハナイ
カ、斯様ナ御質問ノヤウニ拜承致スノデア
リマスガ、例ヘバ産業設備營團ハ、御承知
ノ如ク設備ヲ握ツテ居ルト申シマシテモ、
ソレハ戰時下ノ未動遊休設備及ビ戰時下ニ
於テ戰後マデ維持スルコトヲ必要トスル設
備、而モ事業家ガ自ラ保有スルコト著シク
困難ナモノヲ、國ニ代ツテ事業者ニ保有サ
スコトハ餘リニ氣ノ毒デアルト云フノデ、
産業設備營團ヲシテ保有セシメテ居ルノデ
アリマス、御話ノ如ク國民經濟ノ全般ニ互
ツテ色々活動スベキ設備ヲ、産業設備營團
ヲ通ジテ政府ガ押ヘテ居ルト云フヤウナコ
トデハナイと思フノデアリマス、又重要物
資ニ付キマシテモ、産業設備營團ヲ通ジテ
政府ガ押ヘテ居ルト云フ其ノ設備ト必ズシ
モ適應シタ物資ヲ、重要物資トシテ物資管
理營團ハ押ヘテ居ル譯デハアリマセス、是
亦別ノ面カラ國民經濟ノ運行上、或ハ又
此ノ戰爭完遂上必要ナル物資ヲ管理營團ガ
貯藏シテ居ル譯デゴザイマセウカラ、此ノ
點ハ御話ノヤウナ特殊會社ハ非常ニ權力ヲ揮
フト云フコトニハ相成ルマイカト考ヘテ居
リマス

斯ウ云フコトデアリマス

○喜多委員 專ラ戰時金融金庫ニ付テ質疑
ヲシマス、特ニ私ハ前ノ臨時議會ノ産業設
備營團法案ノ委員會ニ於テ、此ノ關係ニ付
テ質疑應答シタ相手ガ谷口大藏次官デア
タノデ、私ハ谷口大藏次官ニ主ニ御答辯ヲ
願ヒタイと思ヒマス、一體戰時金融金庫ノ
仕事ハ何時カラ始メル豫定デナイデニナル
カト云フ點、ソレカラ御話ニナリマシタ事
業目論見ハ既ニ御持チカドウカ、是ガ第二
點、第三點ハ此ノ法案ガ提出セラレルマデ
ニハ、大藏當局ノ中ニハ意見ノ對立ガアツ
テ、銀行局ハ反對デアルト云フ噂ガアツタ
ガ、若シ此ノ噂ガ眞ナリトスレバ、サウ云
フモノヲナゼ急イデ出サレタカ、之ヲ御伺
ヒ致シマス

○谷口政府委員 大體此ノ金庫ノ仕事ハ四
月カラ始メタイと思ツテ居リマス、ソレカ
ラ事業計畫モ出來上ツテ居リマシテ、是ノ
資金計畫ト云フモノハ略、出來上ツテ居ル關
係ニナツテ居リマス、ソレカラ役所ノ中ノ
コトデ、斯ウ云フ法案ヲ出シマス時ニハ色
色意見ガアリマシテ、一ツノ局ガ他ノ局ト
對立シテ居ルノミナラズ、一ツノ局デモ上
下アリマシテ、縱横上下色々ノ意見ノ違ツ
タ所ヲ纏メ上ゲマシテ、結局一ツノ結論ガ
出ルコトニナルノデアリマス、只今御指摘
ニナリマシタヤウナ、一ツノ局ガ一體トナ
ツテ他ノ局ト張合ツテ居ルト云フヤウナコ
トハマダ聞カナカツタノデアリマス

○喜多委員 私ハ日本ノ戰時産業再編成上
カラ特ニ必要トスル金融力ヲ與ヘルモノハ、
勸業銀行ヤ興業銀行ノ特別融資ノ領域ダケ
デハ少イカラ、出來ルナラバ昨年十一月末
ノ臨時議會デ審議セラレタ産業設備營團ニ

投資融資ヲサセル、言ヒ換ヘレバ物の投資

ダケヲ認メタ産業設備營團ニ、左ノ手デ金
モ貸スト云フコトヲ認メル方ガ、國家ノ產
業ニ金融力ヲ特別ニ與ヘルト云フ點ダケカ
ラ見テ、遊休未動ハ別トシテモ便利デヤア
リマセスカト、私ハアナタニ諄イ程重ネテ
質疑シタ、其ノ時ニアナタヲ答辯ハ速記録
ニ載ツテ居リマス、マダ新シイコトデアリ
マスカラアナタモ御記憶デセウ、「此ノ營團
ノ行ヒマス仕事ニ付キマシテモ、大體ノ方
針ニ付キマシテハ商工省、大藏省能ク協
議致シテヤル考ヘニナツテ居ルノデアリマ
スガ、既存ノ金融機關ガ此ノ方面ニ多少關
聯アリマスルヤウナ金融ヲ行ヒマスルヤ
ウナ場合ニ於キマシテモ、能ク連絡ノ執レ
ルヤウナコトニ步調ヲ一ニシテ進行スル」ダ
カラ別シテ新シク作ル必要ハナイヤウニ思
フノダ、斯ウ云フ御答辯ガ印刷サレテ居ル
ノデス、ソコデ私ノ豫期スルアナタノ答辯
ハ、サツキ龜井君ノゴツチヤ混ゼニシタ大
キナ問題、正金ヤ勸銀與銀カラ一切合財ド
ウダト云フアノ質疑ノ時ニ、戰爭遂行ノ現
段階ノ發展ニ伴ツテ作ラレタモノダ、斯ウ
云フ風ニ仰シヤツタ、無論私ハ十一月ノ末
ニ御別レシテカラ今日マデ二箇月デアリマ
ス、二箇月ト言ヘバホソノ僅カノ間デアリ
マスガ、此ノ二箇月ハ日本産業ノ再編成ノ
ミナラズ、日本全體ノ運命サヘモ轉換シテ
來タ大東亞戰爭ノ勃發ガアツタノデアリマ
スカラ、之ニ依ツテ時期ガ違ツテ來タゾト
言ヘバ、私ハ無論ソレニ納得シマスケレド
モ、併シアノ議會ハ此ノ戰爭ヲ豫期シタ議
會デアツタコトハ、院議ヲ以テシタ決戰
體制ノ決議ヲ見テモアナタハヨク分リマセ
ウ、アノ時ニ此ノ案ガ大藏當局ノ内ニ私ハ

アツタと思フ、アツタナラアナタハモウ少

シ正直ニ、實ハ喜多斯ウ／＼云フ手ガコツ
チニアルト云フコトヲ言ハナケレバ、政府
自ラ私共ニ對シテ非建設的態度デアルト云
フコトダケハ、素天邊ニ釘ヲ差シテ置キタ
イ、戰爭ガ起キタ、ダカラヤツタトスレバ
今度如何ニモ慌デテヤツタ、銀行局ト對立
シテ、是ガ元日ノ省議ニ上ツタト云フコト
ハ、何ト言ツテモ億兆心ヲ一ニシテ居ル今
日トシテハ好イ噂デアリマセヌヨ、又眞
實トスレバ成ツテ居ラスデスヨ、是ハアナ
タニ問ヒ詰メル譯デアリマセヌガ、何ダ
カナアナタガ後ロノ方ニ隱シテ、サウシテ出
タトコ勝負ト云フノデハ、建設議會ヲ政府ノ
一角自ラ崩スト云フ感ジヲ沁々持ツノデス
ガ、之ニ對スルアナタノ所信ヲ聽キタイ

○谷口政府委員 昨年十一月ノ議會ニ於キ
マシテ、喜多サンカラ只今御指摘ナリマシ
タヤウナ問答ガアツタト私モ思ヒマス、當
時只今御話ニナリマシタヤウニ、豫メ今日
ノヤウナ成行ニナルト云フコトヲ大體見透
シテ居ツテ、而モ又事態ガ變ツタト云フ答
ヘモ其ノ時カラ用意シテ居ツタト云フ程私
モ考ヘ深クハ思ツテ居ラナカツタノデアリ
マシテ、全ク當時ト致シマシテハ虛心坦懷
ニサウ云フ御答ヘヲ致シテ居ツタと思フノ
デアリマス、此ノ設備營團ト金庫ノ問題ニ
付キマシテハ、色々當時カラ御感想モアル
カト思フノデアリマスガ、何サマ戰時ノ金
融機關ヲ設ケルカドウカト云フ問題ハ今ニ
始マツタコトデアリナイノデアリマシテ、恐
ラクハ事變始マツタ時カラ此ノ問題ニ付テ
ハ考ヘガアツタト申上ゲテ誤リデナイト考
ヘルノデアリマス、其ノ後ノ推移ヲ追ツテ
見マス、特別ノ機關ヲ設ケナイデ、既存

ノ機關ニ新タナ機能ヲ付ケル、又新タナ方面ニ特殊ノ機關ヲ若干設ケタ點モアリマシガ、サウ云フ特別ナ機關ヲ設ケナイデ推移シテ來マシタ、サウシテ今度ノ段階ニナリマシテ、ヤハリ特別ナ機關ヲ設ケタ方ガ宜シイ、斯ウ云フ結論ニ素直ニ相成ツタ次第デアリマス、元カラ色々ノコトヲ考ヘマシテ、色々謀ランダト云フヤウナコトハ全クナイ次第デアリマスカラ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス

○喜多委員 謀ラシタト云フノデハナイノ
デス、サウ云フ相手ガアツタコトハ無論私ハ
認メマス、併シ既ニ是ダケ大キナ法案デ、
是ダケムヅカシイモノガ、十一月ニ私ガア
ナタニ質疑シタ時ニハ結論的到達ト云フヨ
リモ、用意的到達ガ出來ル材料モ何モアツ
テ、ソコヘドント西太平洋デ大砲ガ鳴ツテ、
「ハワイ」ノ空デ飛行機ガ飛シダカラポカッ
ト出シタト云フ感じヲサセタコトハ私ハド
ウシテモ解セナイ、解セナイカラ不備ダラ
ケデス、私ハ重ネテ聽カナイ、田中君ノ說
明ナド聽クト、重要物資營團ト此ノ金庫、
産業設備營團ノ關係ハ——此ノ速記録ヲ明
日デモ明後日デモ御覽ナサイ、滅茶苦茶デ
ス、成ツテ居ナイ、私ハ是ダケ大藏次官ニ
要求シタイ、設備營團ト戰時金融金庫ノ性
質區分ノ重要點ヲ法文カラ示シテ戴キタイ、
是ハ言葉デハ繰返シテモ駄目デス、資料ト
シテ、産業設備營團ト戰時金融金庫ノ性質
的區別ノ點、及ビ職能的區別ノ點ヲ、此ノ
委員會ノ終リマデニ戴キタイ、ソコデ質疑
ハ、一體私ハ斯ウ解釋スルノデスガ、産業
設備營團ハ專ラ物の業務、戰時金融金庫ハ
專ラ金融的業務デアル、ダカラ兩者ノ運用
ガ巧ク行ケバ、日本産業再編成及ビ此ノ戰

爭ヲ戰ヒ拔クト云フ上カラ行クト非常
 ニ良イモノデアル、所ガ、兩者ノ運營
 經理ガ巧ク行ケバ非常ニ好イ結果ダガ、
 巧ク行カナイト云フ虞レガアルカラ、
 産業設備營團ニ左ノ手ヲ與ヘマセスカト
 言ツダラ、アナタハ、必要ガナイト認メル
 カラ此ノ儘デ行クノダ、若シ必要ガアル場
 合ニハ既存ノ金融機關ナドト緊密ナ連絡ヲ
 執レバソレデ十分ダト言ハレタノデスガ、
 是ハ若シアナタガ用意ヲシツツアツテ、コ
 ツチデ斯ウ云フモノヲ——私ハソレヲ隱シ
 タトハ言ヒマセヌガ、御持チニナラナイデ
 ピシヤツト出タカラ、アナタノ政治的識見
 ガ疑ハレルト云フコトダケハ、アナタガ自
 問自答ナサツタト言ハザルヲ得ナイ、是ハ
 私ノ意見トシテ申上ゲテ置クノダガ、ソレ
 デ上手ニ運營サレレバ宜イ、サウスルト日
 本帝國政府トシテハ、ソレノ別個ノ機關
 タラシメル以上ハ、大體此ノ法案ガアナタ
 方ノ頭ノ中デ以テ割出サレテ來テ、ドン
 ト用意サレテ來ル間ニハ——實ヲ言フト大藏
 省御當局ガ本法案ヲ提出スルニ當ツテ、圓
 滑ニ遂行ヲ圖ル爲ニ、何カ此ノ法案ノ裏ニ
 ハ商工、大藏兩當局ノ取極メガアリマスカ、
 申合セガアリマスカ、アノ時私ハ岸商工大臣
 ニ尋ネタ、大藏省ヲ出シ抜イテ之ヲ出シタ
 ト云フヤウナ噂ガアルガ本當デスカト言ツ
 タラ、ソナコトハナイト言ハレタガ、ド
 ウモ段々責メテ行クト、投資融資ト云フ金
 融的方面ニ於テハ、大藏當局ノ速記録ニ遺
 サレタ答辯デハ不十分ナ、冷ヤカナ、繼子
 扱ヒノ、何處カデ拾ヒツ子デモシタノヲ、
 仕方ガナイノダト云フヤウナ感ジヲ——是
 ハ私ノ感ジデ、結果カラ言ヘバ不幸ナ感ジ
 デスヨ、サウ云フ感ジヲ持つテ居ルノダガ、

常識的ニ言へば此ノ位關係ガ深いモノガ、片一方ハモウ仕事ヲ始メヨウトシテ居ル、四月カラ始ヨウトスレバ、其ノ間ニ取極メナリ或ハ閣議ノ申合ト云フ風ナモノ、或ハ總理ガ兩方ノ大臣ニ向ツテ運營宜シキヲ圖ラルベシト云ツタヤウナ何カ「スローガン」的ナモノガアルカドウカ、此ノ點モ伺ツテ置キタイノデアリマス

○谷口政府委員　産業設備營團ト戰時金融金庫トノ性質的ナ區別ハ、一方ガ物的業務デアリ、一方ガ金融的ノ業務デアルト云フコトハ喜多サシノ只今仰セノ通りデアリマス、ソレカラ業務的ニ申シマスレバ、産業設備營團ノ携ハル所ヨリモ、更ニ廣イ方面ニ戰時金融金庫ガ投資、融資ヲ致スト云フコトガ言ヘルト思フノデアリマス、未動遊休設備デアリマストカ、國家緊要産業ノ設備デアリマストカ云フヤウナ點ハ共通致シテ居リマスケレドモ、國家緊要ノ産業設備ニ對シマシテモ、産業設備營團ノ携ハル場合ハ範圍ガ狭イ、是ガ著シク此ノ建設ヲ困難トスルヤウナ事情ノアル場合ト云フ風ニ限ツテ居リマス、ソレカラ未動遊休設備ニ付キマシテハ、兩者共通デアリマスルケレドモ、戰時金融金庫ト致シマシテハ、物資ノ貯藏ノ方面ニモ關係致シマスシ、又其ノ他ノ方面ニモ關係致シマスシ、有價證券ノ價格安定ノ爲ニ色々投資、融資ヲスルト云フヤウニ、場面ノ廣イ部分ガ相當アルノデアリマス、尙ホ其ノ點ニ付キマシテ、本金庫ノ業務ト産業設備營團ノ業務トノ關係ニ付キマシテハ、先程仰セニハナリマシタケレドモ、尙ホ一應田中會社部長カラノ御説明ヲ、御許シヲ得マシテ御聽取ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソコデ兩者關係ノ深い場面ヲ持ツテ居ル
ト云フコトハ仰セノ通りデアリマシテ、仲
好クシテ將來仕事ニ當ラナケレバナラナイ
ノデアリマスルガ、之ニ付テ申合セガアル
カドウカト云フ御質問デアリマス、申合セ
ヲ致シタイ氣持ヲ持ツテ居ルノデアリマス
ルケレドモ、只今ハマダ確タルコトニハナツ
テ居リマセヌ、是ハ若シ戰時金融金庫ノ側
キニ付キマシテ關係兩省申合セヲスルナラ
バ、産業設備營團ノ働キニ付テモ關係兩省
申合セヲスベキ筋合ノモノデアラウト心得
ルノデアリマシテ、遡ツテ十一月ニ御協贊
ヲ得マシタ營團ノモノニ付キマシテモ、色
色ト取極メテ致サナケレバナラナイ筋合デ
アラウト私共心得テ居リマスルガ、差當リ
只今御質問ノ點ノ戰時金融金庫ノ働キニ關
スル申合セガアルカドウカト云フ點ニ付キ
マシテハ、只今マダ成立ツテ居リマセヌ、
併シ私共トシテハ出來ルナラバ兩者ノ仕事
ハオ互ヒノ分野ニ於テ圓滑ニ働イテ行キマスル
ヤウニ申合セラシタイト云フ心持デ居ルノ
デアリマシテ、若干ノ腹案ハ既ニ持合セテ
居ルノデアリマス、左様ナ次第デアリマス
ルカラ御諒承願ヒマス

○田中(豐)政府委員　戰時金融金庫ト産業設備營團ノ關係ニ付テ、少シク考ヘテ居リマス所ヲ申述ベサセテ戴キタイト思ヒマス、只今次官ヨリ説明致シマシタ如ク、戰時金融金庫ハ産業設備營團ニ關係ノナイ色々ナ業務ヲ致スノデアリマスガ、本戰時金融金庫業務中最モ産業設備營團ノ業務ト關係ガアルト思ハレル點ニ付テ申上ゲマスナラバ、先ヅ一ツハ國家緊要産業ニ對スルモノデアリマス、御承知ノヤウニ産業設備營團ハ國家緊要産業ノ設備デアツテ、事業者ヲシテ建設

セシムルコトが著シク困難ナル場合ニ於テ、産業設備營團が國有民營のナ措置ニ依ツテ建設スル、斯ウ云フコトデアアルト思フノデアリマス、隨テ産業設備營團が國家ニ代ツテ自ラ建設スルト云フノハ、事業トシテモ著シク危險ガアツテ、事業者ヲシテ建設セシムルコトハ將來ノ見透シ其ノ他カラ見テ無理デアアルト思ハレルヤウナ、極メテ限ラレタル範圍ニ於テ産業設備營團ガ自ラ建設スル、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス、之ニ對シマシテ戰時金融金庫ニ於キマシテハ、ソコマデ達シナイ、企業者自ラガ建設出來ルヤウナ設備、其ノ程度ノモノニ對シテ特別ナ金融的助成ヲ與ヘ、而モ一般ノ銀行或ハ他ノ金融機關カラ資金ノ調達ガ出來ナイト云フ程度ノ危險性アル設備ニ對シテ、廣ク特別ナ金融的助成ヲ與ヘテ、緊要ナル設備ノ増設ヲ促シテ行ク、斯ウ云フ關係ニアルト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ關係スル面ハ、未動遊休設備デアリマスガ、之ニ付キマシテモ御承知ノヤウニ、産業設備營團ハ政府ノ決定セル整理方針ニ基キマシテ、廢棄スベキ設備ヲ「スクラップ」トシテ買上ゲル、或ハ又戰時中維持スルヲ必要トスルト決定シテ未動遊休設備ニ付キマシテハ、本人ヲシテ保有セシムルコトガ著シク無理デアリ、困難デアルト云フ場合ニハ、ヤハリ此ノ産業設備營團ガ自ラ保有スルト云フコトニ相成ル譯デアリマスガ、産業設備營團ガ保有シナクテモ、企業者自體ヲシテ保有セシメ得ル場合ガ多々アル譯デアリマス、企業者自身ノ自力ニ依ツテ、何等金ヲ借りナクテ保有シ得ル場合モアリマセウシ、或ハ一般ノ金融機關カラ資金ヲ調達シテ保有シ得ル場合モアリ

マセウ、或ハ未動遊休設備ガアルカラ普通ノ金利デ保有スルコトガ困難デアアル、或ハサウ云フ未動遊休設備ノ保有ニ對シテハ一般ノ金融機關ガ金ヲ貸シ難イト云フ場合ニハ、此ノ戰時金融金庫ガ特別ナ金融的助成ヲスル場合モアリ得ル、斯様ニ考ヘテ居リマス、要スルニ、何レニシテモ國家ノ決定セル産業方針ニ基イテ、一方ハ金融的助成ヲ行ツテ、企業者自ラヲシテ建設セシメ、保有セシメル、一方ハヤハリ國家ノ決定セル産業方針ニ基イテ、産業設備營團ガ自ラ建設シ、自ラ保有スル、或ハ「スクラップ」ニスル爲ニ買上ゲル、斯ウ云フコトニアルト存ジマス

ケ、或ハソレヲ貸付ケタリ出資スルト云フコトダト存ジマス、後段ノ方ハ、戰時金融金庫ニ付キマシテハ御話ノ通りデアリマス、企業者自ラ建設シ、保有スル場合ニ於テ、本金庫ガ金融的助成ヲスル、斯様ナコトニ相成ツテ居リマス

マシタガ、其ノ結果出テ來ルコトハ大キナ疑ヒナデス、要スルニ、國家ガ緊急緊要トスル産業ト云フモノガ土臺ニナル、ソレヲ産業再編成的ニ、乃至ハ生産擴充的ニ活力シテ行ク、其ノ爲ノ金融、投資融資ト云フコトガ本金庫ノ大キナ目的ナノデスカラ、是ガ業務ノ全體デ、協同證券ノ吸收、是ハアツテモナクデモ宜イコトデアアル、私ハサウ思フ、言換ヘルト戰時金融金庫ハ、業務ノ全面カラ滲ミ出シテ來ル感ジト云フモノハ、田中サン、産業行政ヲ自ラ掌ルト云フ結論ニナリマスゾ、サウスルト大藏省ハ今後大藏大臣デアリナガラ、金ヲ貸スモノヲ作ツテ置イテ、サウシテ金ヲ出スト云フコトヲ業務ノ全般ニ置イテオイト、日本産業行政ニ拂ツテ來ルト云フコトニナル、此ノ點デハ「セクショナリズム」デ、金貨ノ方ト産業行政ノ方ト斯ウナツテ異レタ方ガ宜イガ、臆面モナク、博奕打ノ繩張等ヒ——ト言フト言葉ハ良クアリマセスガ、ソナナ風ニ心配スル、出テ來ナクテモ宜イ所ニ出テ來タ、出ル杭ハ打タレト言フガ、打タレザルヲ得ナイ、今ノ御話カラ言フト兩方トモ同ジコトデス、唯産業設備ノ方ガ次官ノ仰シヤツタ通りニ狭イ、サウシテ性質ガ深刻のデス、コチラハ廣クテ或ル意味カラ言ヘバ樂觀的ダト云フコトニナル、ソコデ斯ウナツテ來ルト、結局業者ハ口實ヲ設ケテ金庫ノ融資ヲ求メテ來ル部面ガ私ハ大キクナルト思フ、是ハ何ト云ツテモ父祖傳來ノ仕事ニ別レルノハ惜シイカラ、「スクラップ」ニサレテハ堪ラヌト云フ風ナコトニナツテ、政府ガ命令スル前ニヤツテ來テ、ドウゾ金ヲ貸シテ下サイト云ツテ産業設備營團ノ買

マセウ、或ハ未動遊休設備ガアルカラ普通ノ金利デ保有スルコトガ困難デアアル、或ハサウ云フ未動遊休設備ノ保有ニ對シテハ一般ノ金融機關ガ金ヲ貸シ難イト云フ場合ニハ、此ノ戰時金融金庫ガ特別ナ金融的助成ヲスル場合モアリ得ル、斯様ニ考ヘテ居リマス、要スルニ、何レニシテモ國家ノ決定セル産業方針ニ基イテ、一方ハ金融的助成ヲ行ツテ、企業者自ラヲシテ建設セシメ、保有セシメル、一方ハヤハリ國家ノ決定セル産業方針ニ基イテ、産業設備營團ガ自ラ建設シ、自ラ保有スル、或ハ「スクラップ」ニスル爲ニ買上ゲル、斯ウ云フコトニアルト存ジマス

○喜多委員 サツキヨリハ能ク分リマシタ、ソコデ田中サン、斯ウ取ツテ宜イデスカ、産業設備營團ハ國家緊要産業設備ニシテ企業者自體ニ於テ建設又ハ維持スルコト著シク困難ナルモノノ建設、買受竝ニ設備ノ保有ニ對スル出資、但シ産業設備ノ方ハ物の投資デスネ、ソレカラ未動遊休設備ノ實質及ビ保有竝ニ活用ノ斡旋ハ、産業設備營團ノ方ハ政府ノ方針ニ基ク、サウシテ企業者ガソレヲ持ツダケノ力ガナイト云フ風ナモノニ國家ガ出資スル、ソレカラ戰時金融金庫ノ方ハ、國家緊要産業ノ設備ヲ企業者、事業者、業務者自體ガ建設又ハ維持スルコトハ出來ルケレドモ、特別ノ金融力ヲヤラナケレバ駄目ダト云フ場合、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○田中(豊)政府委員 大體左様デゴザイマスガ、只今承リマシタ一番初メニ國家緊要産業ノ設備デアツテ事業者自ラガ建設又ハ維持スルコト著シク困難ナルモノニ對スル出資ト仰シヤツタヤウニ記憶致シマスガ、困難ナモノヲ産業設備營團ハ建設シ、買受

○喜多委員 大藏次官ニ御尋ネスルノデスガ、確カニ是ハ産業設備營團法案ガ議會ニ提出サレル時ニハ、私ガ申上ゲマシタ通りニ、大藏省ト商工當局ト云フモノハ内輪話ガ本當ニ出來テ居ナカッタヤウニ思フ、私ハ法案審議ノ時ニ、遺憾千萬ノコトデアリマスト商工大臣ニモ申上ゲタシ、アナタニモ申上ゲル、アナタハソレヲ肯定シテ呉レタラ宜イ、一體話合ヲシナイデボカ——出サレルカラ、審議スル吾々ノ方モ材料ヲ二重ニモ三重ニモ取ツテ行カナケレバナラナイ、是ハ非建設的デスヨ、役所ノ「セクショナリズム」ヲ議會ニ持ツテ來テハイカヌト云フコトヲ一本釘ヲ差シテ置キタイノデス、デスカラ此處デノ審議ヲ土臺ニシテ早く取極メヲナサイ、ソレガ國家ノ爲デス、腹案ガアルト仰シヤツタガ其ノ腹案ハドノ程度デスカ、私ノ質疑ニ於テ一ツ出來レバ聽カシテ戴ケレバ、他ノ委員ハドウカ知リマセヌガ、私ハ質疑ヲ止メテモ宜イノデス

取ナドヲ忌避スルト云フ手段ニ出テ來タラ、日本ガ此ノ大戰爭ニ勝抜クト云フコトヲ目標ニシテ、サウシテ日本統制經濟ノ裏付ヲシヨウト云フ産業設備行爲ト云フモノヲ、此ノ金庫自ラ破ルヤウナコトニナツテ來ルト云フ感ジヲ持ツノデアリマスガ、之ニ對スルアナタノ答辯ヲ求メタイ

○田中(豐)政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、私ノ先ヅ第一ニ申上ゲタイノハ、本金庫ノ業務ト産業設備營團ノ業務ト關係ガアルトカナイトカ云フコトニ付テ、關係ガアル部面モアルト申上ゲタノハ、唯單ニ有價證券ノ賣買ト云フヤウナ問題ダケデハナイ、私ノ考ヘマスノハ、例ヘバ國家緊要産業ニ對スル貸付、是ハ産業政策自體カラ出テ來ル譯デアリマスカラ、産業トハ非常ニ關係ガアリマスガ、産業設備營團自體ト如何ナル關係ヲ持ツカト云フ點ニナルト、國家緊要産業ヲ營ム企業者ト云フノハ澤山アル、其ノ中ニハ、何等危險ノナイモノモアツテ、何等金融的助成ヲ受ケナイデ國家緊要産業ヲ營ミ得ルモノモアリマス、所謂特別ノ金融的助成ヲ受ケナクテモ、一般普通銀行カラ金ヲ借りテ國家緊要産業ヲ營ンデ居ルモノモ澤山アリマス、サウシテ其ノ危險度ガ高クナレバ銀行ガ金ヲ貸サナイト云フコトニナツテ、初メテ金庫ノ世話ニナル、斯ウ云フ面デアリマス、更ニ其ノ危險度ガ高クナツテ、金庫カラモ金ヲ貸サナイ、是ハ業者ニ建設セシメルコトハ無理デアアル、其ノ場合初メテ産業設備營團ガ出テ來ルノデアリマス、ソレデ私ガ申上ゲルノハ、一ツノ國家緊要産業デアツテモ、是ハ産業設備營團ト接シタ面ニ於テ關係ガアル、國家緊要産業ハ皆關係ガアルニアラズシテ、

産業設備營團ガ自ラ建設スルカ、或ハ特別ノ金融的助成ヲ求メテ金庫カラ金ヲ借りルカト云フ問題、ソコノ所ダケニ關係ガアルノデス、非常ニ緊要ナ産業デアツテモ、何モ金ヲ借りナイデヤツテ行ク面モアリマセウシ、或ハ又普通銀行カラ金ヲ借りテヤツテ行ケル部面モアリマス、サウ云フ所ハ一應國家ノ緊要産業ノコトデアリマスカラ、國家ノ産業政策自體ニハ非常ニ關係ガアリマスガ、産業設備營團ノヤル建設事業トハ關係ガナイト云フコトニナル、同ジコトハ未動遊休設備ニ付テモ言ヘルノデアリマス、ソレデ、未動遊休設備ノ例ニ取ラレタ廢棄シテ「スクラップ」ニスル、之ニ金ヲ貸シタラ、誰デモ人情トシテ「スクラップ」ニサレルノハ厭ダカラ、其ノ「スクラップ」ニスルト云フ計畫ガ出來ナクナルノデヤナイカト云フ御説デゴザイマスガ、是ハ何デモ彼デモ「スクラップ」ニスルト云フコトガイカスト云フコトハ申上ゲルマデモナイ、ソレハ一般ニ産業能率ナリ、機械ノ色々ナ條件ナリ、サウ云フコトニ依ツテ、又「スクラップ」ノ所要量ニ依ツテ、産業政策トシテドノ工場ノドウ云ツタ機械ガドレダケ「スクラップ」ニシナケレバナラスカト云フコトハ、産業設備營團ガ決定スルノデハナクテ、是ハ當然政府ノ産業政策ニ基イテ決定シナケレバナラス、其ノ決定ニ基イテ、此ノ金庫ガサウ云フヤウニ決定サレタ對象ニ對シテ金ヲ貸スト云フコトハ、是ハ連絡ヲ密ニスレバアリ得ナイコトダト吾々ハ考ヘテ居リマス

ソレカラモウ一ツ本金庫ガ産業政策ヲ決定スルヤウナ面ニマデ出シヤ張ツテ來ルノデハナイカト云フ御疑問デアリマスガ、是ハ飽クマデ産業設備營團モ本金庫モ、共ニ政府ノ決定セル政策ニ基イテ建設トカ保有トカヤルノデ、産業設備營團ハソレニ基イテ實行スルシ、本金庫ハソレニ基イテ金融スルト云フ實行機關ニ過ギナイノデアリマス

○喜多委員 田中サンニ御問返シ致シマス、アナタノ御使ヒニナツタ今ノ説明ノ中ノ産業政策ト云フ言葉ハ、之ヲドウ解釋スルカ、之ヲ商工大臣ノ主管ニ屬スル部面ダケニ解釋セラレルノカ、ソレカラモウ一ツハ、政府ノ執ツタト云フコトデアルガ、政府ト云フト一體何處ヲ指スノカ、ソコデ國家ノ緊要産業トカ、未動遊休設備ヲ助ケナケレバナラスカドウカト云フコトハ、大藏大臣ガ政府ノ内ニ於テ決定スルノカ、ソレトモ商工大臣ガ決定スルノカ、此ノ點ハ私ニハ考ヘガアルガ、アナタノ御考ヘヲ御尋ネシテ置キタイ

○田中(豐)政府委員 國家ノ産業政策ヲ決定スル當面ノ責任者ハ商工大臣デアルト考ヘマス、併シナガラ其ノ決定ニ當ツテハ、産業政策ニ關係アル大臣ノ色々ナ意見ガ入ル、即チ陸海軍、遞信、鐵道、農林、大藏、サウ云フ各省ノ大臣ノ意見ガ入ルコトハ當然デアルト思ヒマスガ、第一次的ニハ商工大臣デアルト考ヘマス、ソレカラサウ云フ産業政策ニ緊要ナ關係ガアルト云フコトハ、唯單ニ戰時金融金庫ノ金融ニ限ラナイ、現在ノ金融ハ總テ廣ク謂ハバ戰時金融デアツテ、産業政策ニ即應シテ行ハレナケレバナライナイコトハ當然デアリマス、其ノ色彩ガ強キモノハ比較的ガ強イト云フコトニナルカモ知レマセス、是レ以外ニ於キマシテモ、現在ノ強制融資ノ如キハ是レ以上――

以上ト申シマス語弊ガアリマスガ、少クトモ是ト同程度ニ強イモノデアルト考ヘテ居リマス

○喜多委員 重ネテ御尋ネシマスガ、本法案ノ第四十五條ニ「主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ掲グル者ヨリ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得」トアツテ、一、二、三トアリマス、ソコデ當該官吏ト云フモノガ臨檢検査ガ出來ル、サウスルト産業政策ト云フ言葉ニ付テハ、私ハ商工政策ト商工政策ニ對スル金融行政ト云フ言葉デ説明シヨウト思ヒマスガ、臨檢検査ヲスルコトガ出來ル官吏ト云フノハ、一體産業行政ト云フ廣イ言葉ヨリモ、商工行政ニ經驗ヲ持ツタ者ト普通常識的ニ考ヘル、此ノ金庫ガ大藏大臣ダケノ專管デ、此ノ金庫ノ中カラ今度行クト云フヤウナコトニナルト、直接臨檢検査ヲスルト云フ人ハ、一體ドウ云フ人ヲ指シテ居ルノカ、唯帳簿ダケ検査スルノカ、又利息ガ必ズ拂ハレテ居ルカドウカナント云フコトダケ検査スルノカ、一口ニ言ヘバ銀行ノ帳簿ヲ検査シタリ、工場ノ帳簿ヲ検査シタリスルヤウナコトデハ、戰時金融金庫ノ狙ツタ所ニ行ツテ居マスマイ、サウスルトアナタノ先刻ノ話ト矛盾シテ來ル、ソレヲ一ツ問ヒタイ

○田中(豐)政府委員 御質問ノ第四十五條ノ検査ノ規定ハ、戰時金融金庫カラ融通ヲ受ケタ相手方ヲ検査スル規定デアルトハ説明スルマデモナイノデアリマスガ、此ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ、此ノ際ニ於テ戰時金融金庫ガ多少普通ノ金融眼カラ言ヘバ

危険デアル金融ヲ行ハナクテハナラス、必要ナル資金ヲ潤澤ニ供給シナケレバナラス、斯ウ云フ建前デス、資金ヲ供給致シマス爲ニ、借リテ相手、其ノ融通ヲ受ケテ相手ガ、此ノ金ハ丸々政府ノ補償ヲ受ケテ出テ來タ金デアツテ、別ニ返サナクテモ宜イト云ツタヤウナ放漫ナ考ヘ方ニナル懸念ガナイデモナイノデアリマス、即チ本金庫ヲ通ジテ國家有用ノ資金ガ濫用セラレルコトヲ虞レマシテ、其ノ金ヲ借リテ相手方、融通ヲ受ケテ相手方ヲ國自ラガ検査ヲシ得ル、ソレハ飽クマデモ其ノ資金ガ有効ニ使ハレテ居ルヤ否ヤト云フ觀點ニ於テ検査スルノデアリマシテ、主務大臣ハ當該官吏ヲシテ其ノ觀點ニ於テ検査ヲセシメル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○喜多委員 ソコデスヨ、田中サシ、金ガ有效ニ使ハレテ居ルカドウカト云フコトハ、帳面ヅラダケノ検査デハ、無論アナタモ御分リダラウガ、分リマセヌヨ、使ハレテ居ルヤウニシテ、實際ハ妾ノ所ニ持ツテ行ツテ居ルカモ知レナイト云フコトモアルノダカラ、是ハ事業其ノモノ、言ヒ換ヘレバ生産事業其ノモノガ分ル人デナケレバ難カシイデセウ、サウ云フ點カラ言ツテモ、金ヲ貸シタ人ガ借リタ所ニ行ツテ検査ヲスルト、云フ弊ニナツテシマツタナラバ、却テ無駄ニナリハシナイカト云フコトデス、私モ斯ウ云フ噂ヲ聞イテ居ル、事實カドウカ知ラヌガ、日曹ガ融資命令ニ依ツテ動クヤウニナツテ、新シイ社長ガ行クト、片方カラ大藏省ノ融資命令ニ附イタ人ガ行ツテ、社長ガ二人アツテ、日曹其ノモノノ經營能率ガ下ルト云フコトガアルノデスカラ、事ニ依ルト此ノ營團モソレニ輪ヲ掛ケルヤウナコト

ニナル懸念ガアリハシナイカ、此ノ點ヲ御尋ネシマス
○田中(豐)政府委員 只今ノ御質問ハ、甚ダ失禮デスガ了解致シ兼ねマシタガ、此ノ金庫ガ例ニ引カレタ日曹ニ輪ヲ掛ケルヤウナ……
○喜多委員 イヤ日曹ニ輪ヲ掛ケルノデハナイ、私ガ説明ヲ急イダノデスガ斯ウ云フ意味デス、アナタノ仰シヤル検査ト云フハ、此ノ金庫カラ金ヲ借リタ、ダカラ有効ニ使ハレテ居ルカ使ハレテ居ナイカト云フコトヲ検査スル、私ノ言フハ此ノ有効ニ使ハレテ居ルカ使ハレテ居ナイカト云フ検査バ誰ガスルノカ、當該官吏ダト云フガ、當該官吏ト云フノハ其ノ道ノ技師デモ御集メニナルノカドウカ、サウデセウ、大藏省ノ銀行課トカ何トカノ人ガ行ツタノデハ、是ダケノ機械ガ有效ニ動イテドレダケ物ガ出來テ居ルカト云フコトハ分リマセヌ、ソコドウスルカト云フ點デス、デナイト金ヲ出シタ方ノ一ツノ勢力代表ト、事業ノ方ノ勢力代表ト云フヤウナコトデ、日曹ソレ自體ニツ頭ガアツテ、社長ガ二人アツテ困リ抜イタト云フヤウナコトニ墮シハシナイカト云フコトヲ申シタノデアリマス
○田中(豐)政府委員 御質問ハ了承致シマシタ、要スルニ本金庫カラ金ヲ借リタ所ヘ産業ノ技術の面ノ方面ノ分ラヌ者ガ行ツテ検査ヲシテモソレハ無駄デハナイカ、能率ガ舉ラナイデハナイカ、サウ云フ技術的ノコトノ分ラヌ者ニ検査サス、又産業ノ技術的のナ人ガ經營シ、別ニ検査ガアルト假定スレバ、其ノ兩者ガ競合シテ産業能率ガ舉ラヌデハナイカト云フ御趣旨ダト思ヒマス、此ノ當該官吏ハ誰カト云フ御議論カラ色々

出テ居リマスガ、當該官吏ハ主務大臣ハ此ノ場合大藏大臣デアリマシテ、大藏大臣ノ命ズル者デアリマス、サウシテ當該官吏トシテ技術的のナ、産業技術ノ分ル者ヲ入レルコトハ、是ハ好マシイコトデハアリマスガ、現在斯ウ云フ検査方面ニ多クノ技術官ヲ持ツコトハ非常ニ困難デモアリマスシ、又産業ノ技術的の検査ハ自ラ商工省ノ經營検査トカ色々ナモノガアリ得ルト思フノデス、是ハ主トシテ其ノ融通ヲ受ケタ金ヲ、不届ナ考ヘカラ返サヌヤウナコトヲシテ居リハシナイカドウカト云フコトヲ検査スルノデアリマシテ、其ノ検査ニ併セマシテ、産業ノ能率ヲ増進スル検査ガアレバ好マシイノデアリマスガ、其處マデ行カナクテモ此ノ検査ハ目的ヲ達スルト思フノデアリマス

○喜多委員 新シイモノデアアルカラ其ノ好マシイ所ニ持ツテ行クヤウニ考ヘル方ガ國家ノ爲所ニ持ツテ行クヤウニ考ヘル方ガ國家ノ爲デス、ソレヲ今マデノ帳簿検査ダケノ境界ヲ付ケルト云フコトニナルト、此ノ金ノ使ヒ方ハ、私ハ先刻亂暴ナ言葉ヲ使ヒマシタガ、此ノ際大變ナコトニナリハシナイカト云フコトデアリマス
次ニ第三十八條デアリマス、「主務大臣ハ戰時金融金庫ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ必要ナル業務ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得」トアリマス、是ハ金融金庫ノ方カラ言ヘバ斯ウ云フ解釋ニナリマスガ、金ヲ借リタ方ノ産業ソレ自體ノ方カラ行クト、ドウモ大藏大臣ダケデ專管シタ此ノ金庫ノ指揮監督ハ私共不十分ダト思フ、茲ニヤハリ商工行政ト云フモノニ對スル「エキスパート」的のナモノガナケレバ無駄デハナイカ、

アナタハドウ御考ヘニナリマスカ
○田中(豐)政府委員 第三十八條ノ「金融金庫ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ必要ナル業務ノ施行ヲ命ジ」云々ト云フコトニ大藏大臣ダケデハイケナイ、斯ウ云フ御考ヘノヤウニ拜承致シマスガ、先程來申シマスヤウニ、産業政策ノ下ニ初メテ今日總テノ金融ガアルト考ヘルノデアリマス、ソレニ背馳シタ金融ト云フモノハ現在ハイケナイト思フノデアリマス、併シナガラ金融デアル以上、是ハ分野ヲ分ツテ、商工大臣ト大藏大臣ト分ツト云フヤウナ觀點ヲ貫イテ行キマシテ、其ノ間密接ナル連絡ヲ取ルト云フノガ現在ノ建前デアアル譯デアリマス、目的達成上必要アリト認ムルトキハ必要ナル業務ノ施行ヲ命ズルニ致シマシテモ、例ヘバ此ノ法案デ豫想致シテ居リマス所ハ、此ノ金庫ニハ強制融資ノヤウナ命令ヲ出シマセヌカラ、此ノ金庫ガ金ヲ貸サヌト云ツタヤウナ場合ガアリ得ルト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ是非貸セト云フコトヲ命ジ得ル爲ニ、斯ウ云フ規定ヲ置イタノデアリマス、其ノ判定ヲ行フ主務大臣ト云フノハ、大藏大臣ガ之ヤル、其ノ場合ニ飽クマデモ政府ノ決定セル産業方針ニ基イテ判斷シナケレバナラスコトハ勿論デアリマスガ、商工大臣ガ其ノ判斷ニ入ラナケレバナラスト云フコトハ一寸考ヘラレナイカト思フノデアリマス
ソレカラ第四十五條ノ、先程申上ゲマシタヤウニ、技術ナリ金融ノコトガ分ル人、産業ノ技術ノコトガ分ル人、或ハ機械ノコトノ分ル人、凡ユル者ガ入ツテ、各方面ノ見地ヨリ第四十五條ノ検査ヲスルコトモ好マシイノデアリマスアレドモ、ソレハ現在

ノヤウナ時局ニ於テハ出來ナイシ、又ヤリ得ナイコトデアラウトモ思フノデアリマス、事實上上商工省ノ検査官吏ノ方ガ一緒ニ入ツテ來マシテモ、仰セノ如キ完全ナ検査ニ旨クナルカドウカト云フコトハ甚ダ疑問デヤナイカト思ツテ居リマス

○喜多委員 田中サン、今アナタノ御言葉ノ中ニアツタガ、サウスルト主務大臣ハ大藏大臣ダト云フ風ニ明言ナサイマスガ

○田中(豊)政府委員 其ノ積リデアリマス

○喜多委員 サウスルト國家金融産業、是ハ産業政策ノ國家的見地カラ決マリマス、ソレヲヤボニ此ノ種ノ部面ガ商工行政デ、ドノ部面ガドウト云フコトハ言ハナクテモ、國家金融産業ト云フモノガ決マリ、ソレニ融資、投資ヲシナサイト言ツテモ、金庫ガ出シ溢ルト云フ場合、或ハソレハ遊休未動設備ニ對スル場合ニモ此ノコトハ考ヘラレル、其ノ時ニ片方ニ統制會ト云フヤウナモノガ出來テ來テ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、統制會アタリガ融資命令ヲ出シタ方ガ宜イト云フ、サウスルト此ノ部分ハドウ見テモ常識的ニ考ヘテ大藏大臣賀屋興宣ノ繩張りデヤアリマセヌヨ、サウデセウ、ドウモ是ハ商工大臣岸信介ノ方ダト云フ聲ガ民間ニアルト考ヘラレル、茲ニ一ツノ撞着シタ部面ガアルノデハナイカ、ダカラ斯ウ云ツタ場合ノ主務大臣ト云フコトハ、金融的ニ見レバ大藏大臣ダト云フケレドモ、商工行政的ニ行ケバ商工大臣ト云フコトニナルノデハナイカ、ソコガ疑ハシイ、ソレカラ一體「施行ヲ命ジ云々」、是ハ無論施行勅令ガ出ルデセウガ、此ノ場合ニ主務大臣ノ名前ヲ施行勅令ノ中ニ御書キニナル積リカドウカ

○田中(豊)政府委員 法律案ニ主務大臣或ハ政府トアリマシテモ、勅令ニ書キマス際ニハ、大藏大臣トカ何々大臣ト書クコトニ相成ツテ居リマス

○喜多委員 サウスルト四十條、四十一條モヤハリ皆今アナタノ仰シヤウニ扱ハレルモノト思ヒマスカラ、私ハ質疑ヲ飛バシマシテ……

○田中(豊)政府委員 一寸御許シテ願ヒタイト思ヒマス、此ノ主務大臣ガ大藏大臣、商工大臣ト二ツニナルト云フコトヲ申上ダタノデハナクテ、主務大臣ノコトヲ勅令ニ書キマス場合ニハ、大藏大臣ト書ク場合モアリマスシ、モノニ依ツテ商工大臣ト書ク場合モアリマスガ、兎モ角大臣ヲ明記スルト云フコトヲ申上ダタノデアリマス、商工大臣ト書クト云ツタヤウナ意味デハゴザイマセヌカラ、左様御諒承願ヒマス

○板谷委員長 喜多君ニ御相談申上ゲマスガ、實ハアナタヨリマダ先ノ質問者ガ相當ニアリマスノデ、本日ハ是ニテ散會シテ、明日ヤラウト實ハ考ヘテ居タノデアリマス、併シ次官ニ對スル御質問ガアツタノデ御許シシマシタガ、マダ大分質問ガアリマスガ

○喜多委員 アリマス、但シ進行ハ委員長ニ御委セ致シマス

○板谷委員長 ソレデハ豫メ諸君ニ御諒解ヲ得テ置キタイノデアリマスガ、明日ハ午前十時カラ開會ヲ致シマス、大藏大臣ガ御出席ニナル豫定ニナツテ居リマスルガ、大臣ニ對スル質問ノ保留ハ十名程アリマス、午後ハ部屋ト速記者ノ都合ニ依ツテ開會ガ出來マセヌ、デアリマスカラ大臣ニ質問ナサル方ハ出來ルダケ議席ヲ保ツテ、重複ニ互ラザルヤウニ御願ヒ致シマス、本日ハ是ニテ

散會致シマス
午後四時四十六分散會